
レスプリシリーズ
レスプリVシリーズ
プリンタドライバ説明書

目次

はじめに.....	1
1. プリンタドライバ.....	2
1.1. プリンタドライバについて.....	2
1.2. バージョン情報.....	5
1.3. 用紙.....	6
1.4. 動作モード.....	13
1.5. 拡張処理設定.....	14
1.6. デバイスの設定.....	18
1.7. クリエイトフォント.....	19
1.8. ダウンロードフォント・ロゴフォント情報.....	22
1.9. 設定情報の読みだし・保存.....	23
1.10. テスト印字.....	24
1.11. サトー専用ポートの追加設定手順.....	25
2. インストーラ起動手順.....	33
2.1. メインメニュー画面.....	33
2.2. プリンタメニュー画面.....	34
2.3. プリンタドライバ画面.....	35
2.4. プリンタドライバのインストール方法選択画面.....	36
3. インストール手順.....	37
3.1. プリンタドライバ インストール画面.....	37
3.2. 接続先ポート指定画面.....	39
3.3. ポート選択画面.....	40
3.4. インストールの終了画面.....	45
3.5. 特殊設定画面.....	46
4. アンインストール手順.....	47
4.1. アンインストール画面.....	47
4.2. アンインストール プリンタ選択画面.....	48
4.3. アンインストール 終了画面.....	49
5. USB 標準印刷サポートのインストール方法.....	50
5.1. USB 標準印刷サポートのインストール手順.....	50
5.2. インストール情報ファイルについて.....	63
5.3. USB 標準印刷サポートインストール時の障害回避方法.....	65
6. 注意事項.....	66
6.1. インストール起動時のエラーメッセージ.....	66
6.2. アンインストール時のポート共有メッセージ.....	67
6.3. Plug & Play 回避方法.....	68

はじめに

本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows Vista のレスプリシリーズ、レスプリVシリーズを使用しております。Windows2000/XP/Server2003/Server2008 では画面構成が異なる場合がありますので、ご了承ください。

※1 プリンタドライバは全て、32bit 版になります。64bit 版は未対応です。

※2 画面の解像度は 1024x768 ピクセル以上を推奨します。それ以下の場合一部表示されない場合があります。

1. プリンタドライバ

1.1. プリンタドライバについて

レスプリシリーズのプリンタドライバは、「印刷設定(I)」として独自に「バージョン情報」、「用紙」、「動作モード」、「拡張処理設定」、「クリエイティブフォント」、「ユーティリティ」の6個のタブを所有しており、各タブにおいて様々な設定が可能です。

Windows Vista で「印刷設定(I)」を設定するためには、**管理者権限**にて行う必要があります。管理者権限以外で設定値の変更、またはプリンタポートの追加などの処理を行っても、エラー画面が表示され、反映されません。指定の方法は、「プリンタ」フォルダの中にある、SATO Lesprit408v プリンタを選択し、「ファイル(F)」⇒「管理者として実行(A)」⇒「プロパティ(R)」と選択するか、図 1.1.1 のように SATO Lesprit408v 選択⇒右クリック⇒「管理者として実行(A)」⇒「プロパティ(R)」と選択します。

Windows 2000/XP/Server2003/Server2008 で「印刷設定(I)」を設定するためには、図 1.1.2 に示すように「プリンタ」フォルダの中にある、SATO Lesprit408v プリンタを選択し、「プリンタ(P)」⇒「プロパティ(R)」⇒「全般」タブの「印刷設定(I)」メニューを選択するか、右クリックして「印刷設定(I)」メニューを選択します。

注意) 「印刷設定」で設定可能な項目には、「プリンタ設定ツール」で設定可能な項目と重複するものがありますが、プリンタドライバを使用して印字を行う場合は「印刷設定」での指定が有効となります。またアプリケーションソフトの印刷ダイアログから呼び出すプロパティでは、一時的な設定変更を目的としており、機能も限定されています。

プリンタの名称はドライバセットアップ時に任意に設定できます。
 デフォルト指定では、レスプリ T8/R8/T408/R408 は「SATO レスプリ T8-R8」、レスプリ T12/R12/T412/R412 は「SATO レスプリ T12-R12」、レスプリ T408v/R408v は「SATO Lesprit408v」、レスプリ T412v/R412v は「SATO Lesprit412v」となります。

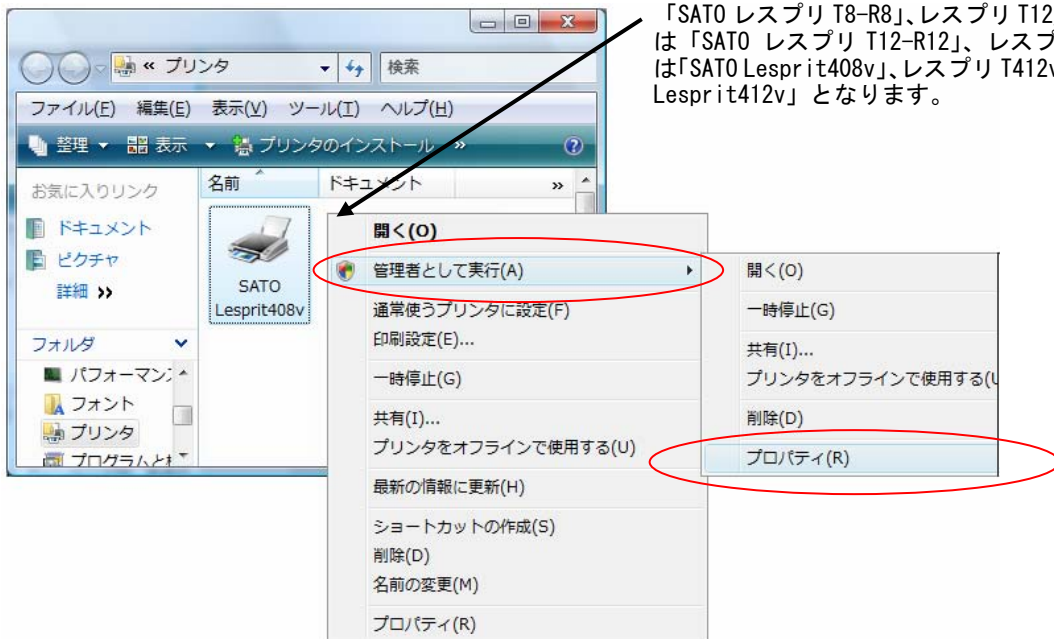


図 1.1.1. 「プリンタフォルダ」画面
Windows Vista の場合

※Windows Vista での「印刷設定」

Windows Vista でのプロパティに関する設定変更は、全て **管理者権限**が必要です。従って、図 1.1.1 のように「SATO Lesprit408v」を右クリック⇒「管理者として実行 (A)」⇒「プロパティ (R)」と選択し、プリンタプロパティの「全般」タブの「印刷設定 (I)」から設定します。
管理者権限以外では各種設定値の変更は一切行えません。



図 1.1.2. 「プリンタフォルダ」画面
Windows 2000/XP/Server2003/Server2008 の場合

※Windows 2000/XP/Server2003/Server2008 での「印刷設定」

Windows Vista 以外での印刷設定は、「SATO Lesprit408v」を右クリックし、次に「印刷設定 (E)」をクリックします。または、「SATO Lesprit408v」を選択し、「プリンタ (P)」⇒「プロパティ (R)」⇒「全般」タブの「印刷設定 (I)」から設定します。

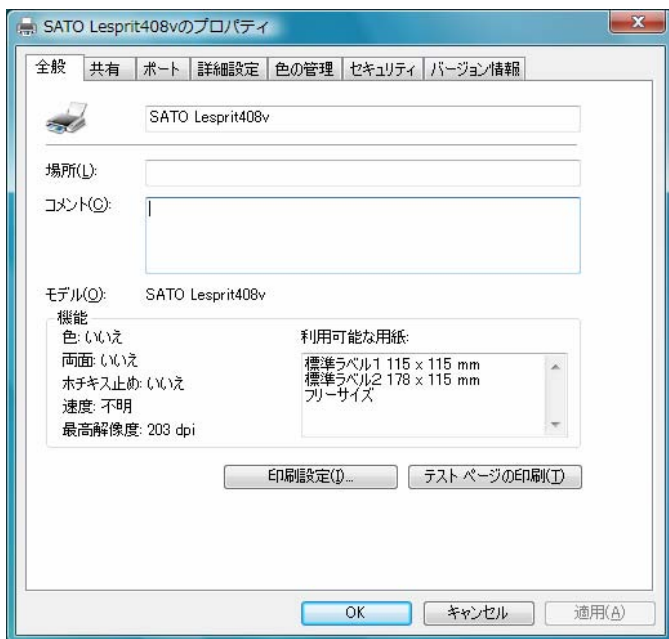


図 1.1.3. 「プロパティ」の「全般タブ」画面
Windows 2000/XP/Server2003/Vista/Server2008 の場合



図 1.1.4. 「印刷設定」画面
Windows 2000/XP/Server2003/Vista/Server2008 の場合

※ Version の表示が 0.0.00.00 になっておりますが、実際に表示した際は対応した Version が表示されます。

1.2. バージョン情報

図 1.2.1 に「バージョン情報」画面を示します。ここではドライバのバージョン情報が表示されます。



図 1.2.1. 「バージョン情報」画面
Windows 2000/XP/Server2003/Vista/Server2008

※ Version の表示が 0.0.00.00 になっておりますが、実際に表示した際は対応した Version が表示されます。

1.3. 用紙

図 1.3.1 に「用紙」画面を示します。ここでは使用する用紙に関する各種設定を行います。

- (1) 使用する用紙を選択します。使用する用紙が登録されていない場合は(5)「用紙登録」により登録してください。
- (2) 用紙搬送方向に対する印刷方向を設定します。
- (3) 印字レイアウトの基点を補正します。通常は0です*。
- (4) 各仕様のプリンタにおける、用紙搬送量を補正します。
- (5) 「用紙登録」ボタンをクリックすることにより、図 1.3.2 に示す「用紙登録」画面が表示されます。「用紙編集」をクリックした場合は「用紙名」に表示している用紙の編集になるだけで、設定内容は同じです。
- (6) チェックしておくことにより、「用紙登録」を選択した際の初期値に、「用紙名」に表示されている用紙の設定値を適用します（フリーサイズの設定値は適用できません）。
- (7) 「用紙名」に表示されている登録済み用紙を削除します。
- (8) 「フリーサイズ」用紙の編集をします。図 1.3.3 に示す画面が表示されます。

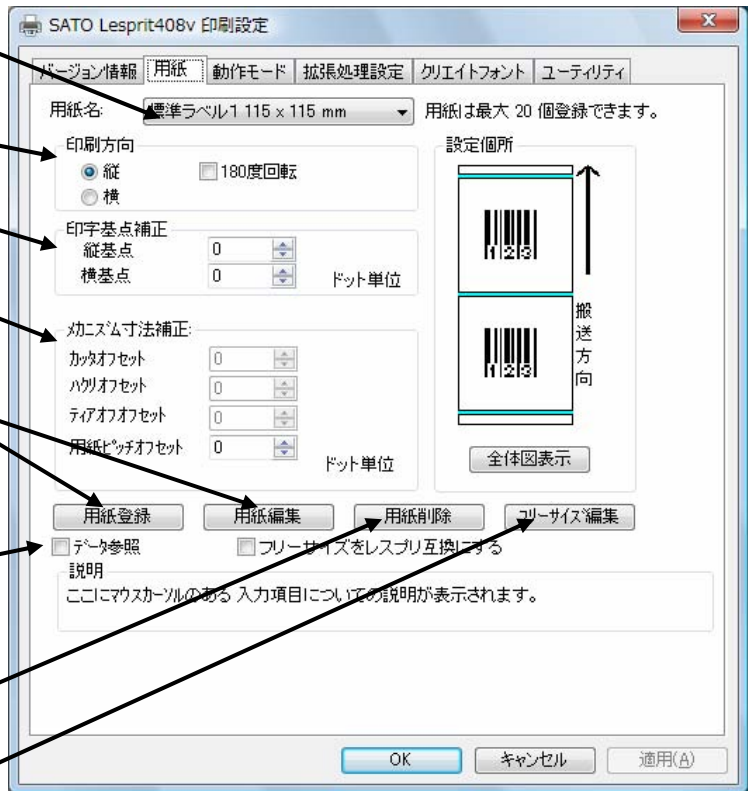


図 1.3.1. 「用紙」画面

- (9) 登録する用紙の名称を設定します。
- (10) 登録する用紙を使用する際の印字濃度レベルを設定します。通常は3です。
- (11) 登録する用紙を使用する際の印字濃度を設定します。通常はAです。
- (12) 設定する各項目の単位を設定します。
- (13) 登録する用紙のサイズを設定します。ギャップサイズは通常 3.0 (mm) です。
- (14) 印字可能領域の左端位置を設定します。
- (15) 印字可能領域の上端位置を設定します。
- (16) 印字可能領域の幅を設定します。
- (17) 印字可能領域の高さを設定します。
- (18) 2色サーマル紙以外の用紙を使用する際に指定します。
- (19) 2色サーマル紙を使用すると赤・黒の2色印字が可能となります。「あり」ボタンをチェックすることにより「赤指定位置」ボタンがアクティブになりますのでクリックしてください。図 1.3.5 に示す赤指定位置を設定するための画面を表示します。
- (20) センサ無視モードの印字停止位置を設定します。

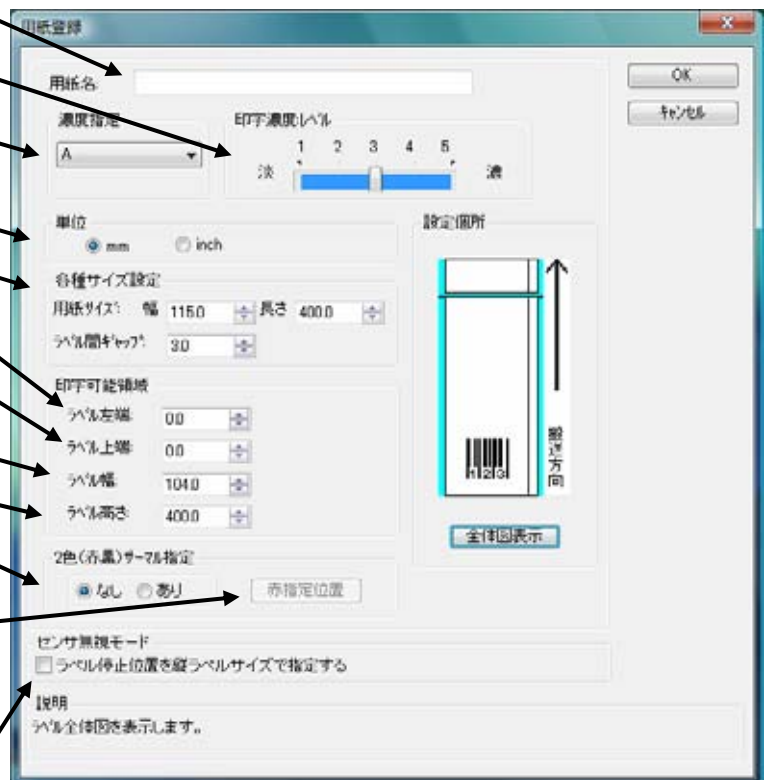


図 1.3.2. 「用紙登録」画面

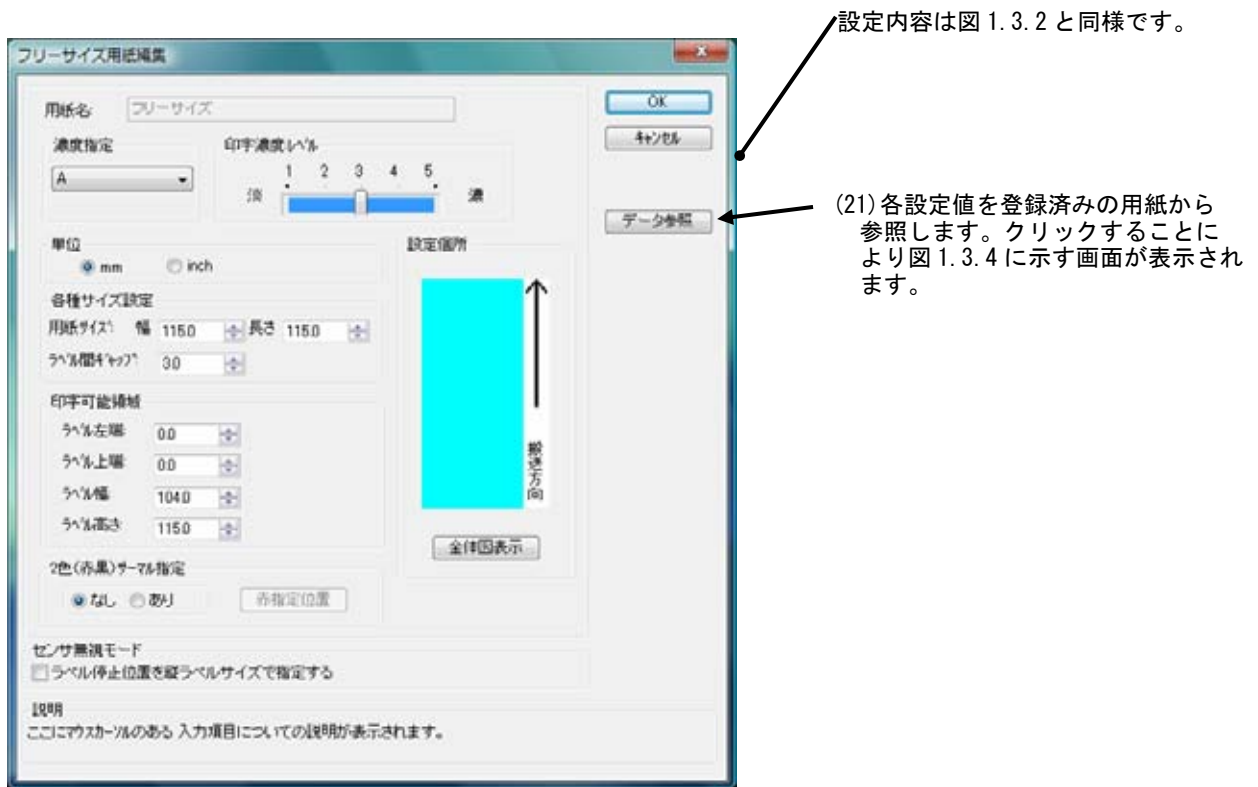


図 1.3.3. 「フリーサイズ用紙編集」画面



図 1.3.4. 「参照用紙選択」画面

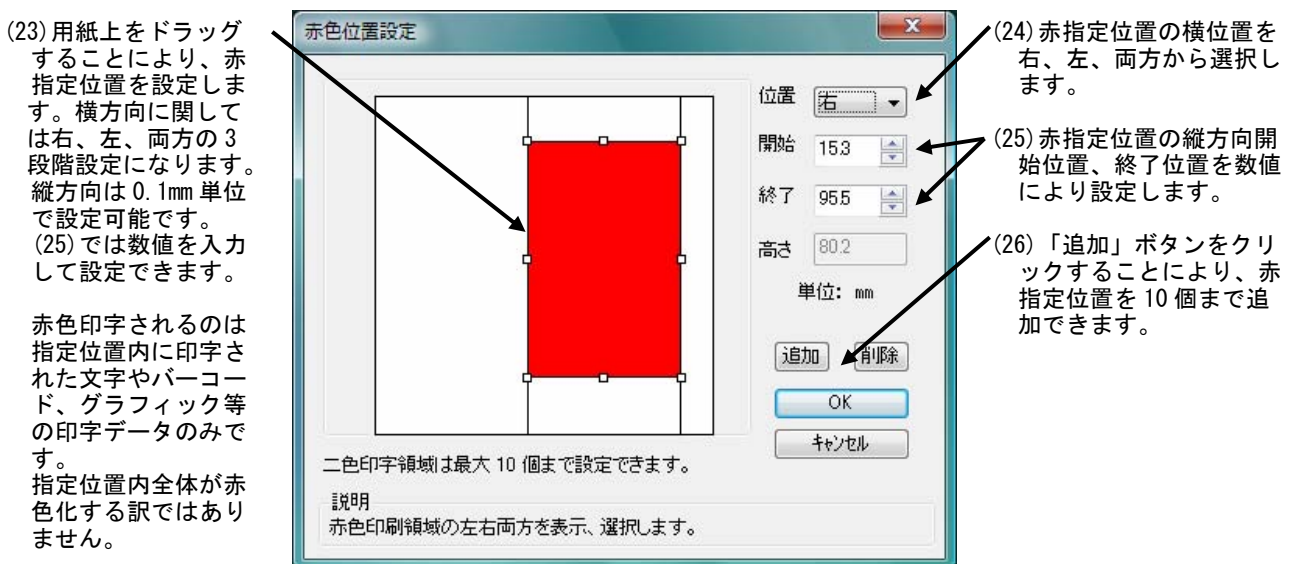


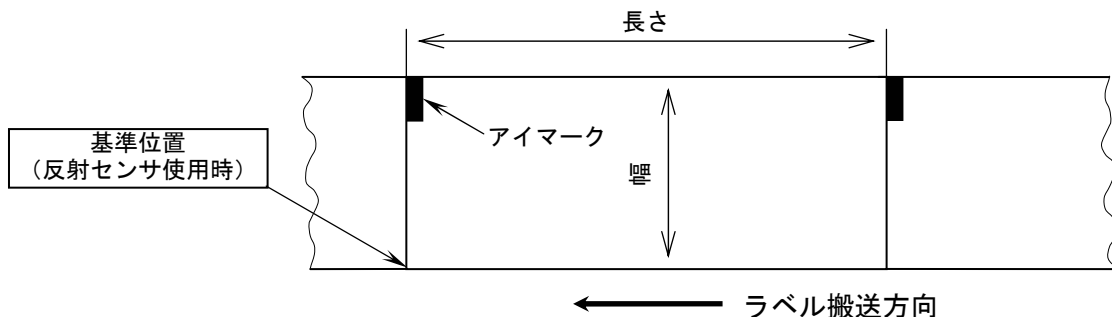
図 1.3.5. 「赤色位置設定」画面

*) 用紙の規格

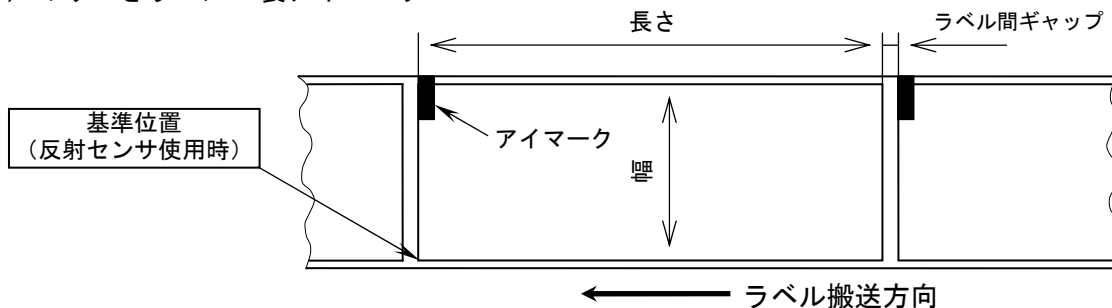
①用紙のサイズ

本プリンタで使用できる用紙タイプは3タイプあり、それぞれのタイプにおける幅および長さは図 1.3.6 に示すようになります。

1) のりなしタグ・裏アイマーク



2) のりつきラベル・裏アイマーク



3) のりつきラベル・ギャップ

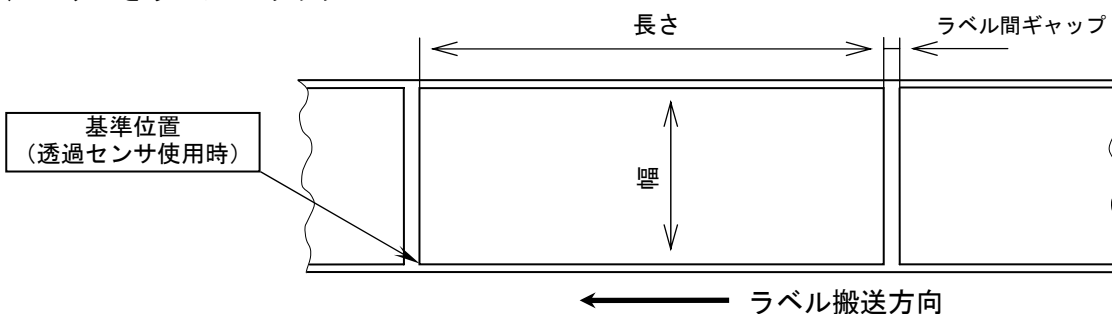


図 1.3.6. 用紙種とサイズ

用紙サイズの規格はプリンタの動作モードにより異なります。

単位 (mm)

用紙タイプ 動作モード	のりつきラベル		のりなしタグ	
	幅	長さ	幅	長さ
連続	25~115	15~397	25~118	15~400
ティアオフ	25~115	27~397	25~118	27~400
カッタ	25~115	20~397	25~118	20~400
ハクリ	25~115	20~120*		

*使用条件により異なります。

②基準位置

ラベルに印字する時に、基準となる点を基準位置といいます。図 1.3.6 に示す様に基準位置の横位置は用紙の左端、縦位置は使用するセンサによって変わり、反射センサ使用時はアイマークの先頭、透過センサ使用時はラベルの先頭になります。ただし使用する用紙の幅がサーマルヘッドの幅 104 (mm) よりも大きい場合は、図 1.3.7 に示すようにサーマルヘッドの左端が基準位置の横位置になります。

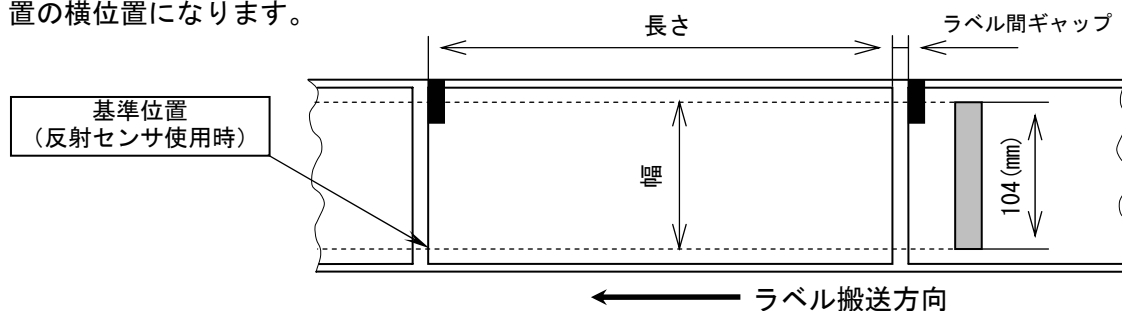


図 1.3.7. 用紙幅が 104 (mm) 以上の時の横基準位置

③基点

基点は印字位置を決めるための原点であり、基準位置から基点補正により設定された位置のことです。基点補正を行わない場合は基準位置が基点となります。

基点補正を行うと図 1.3.8 に示すように、レイアウト全体の印字位置が移動します。

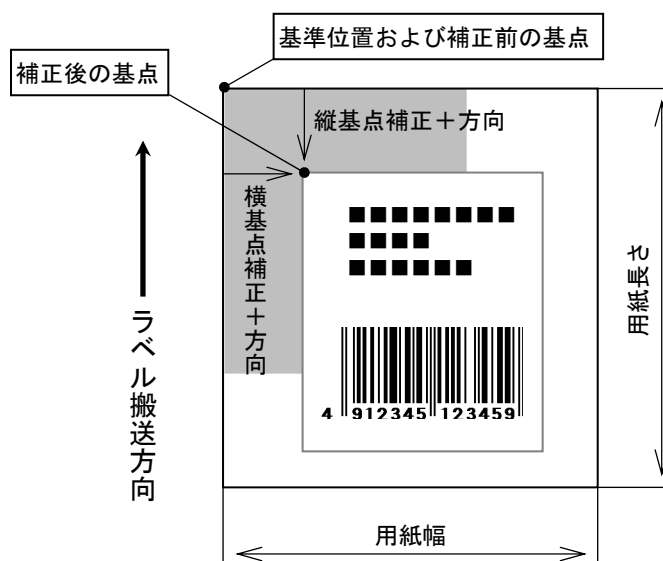


図 1.3.8. 基点補正

④印字可能領域

印字可能領域の最大値を以下に示します（幅×長さ）。

レスプリ T8/R8/T408/R408/T408v/R408v 【ヘッド密度 8 本/mm】：104×400 (mm)
832×3200 (ドット)

レスプリ T12/R12/T412/R412/T412v/R412v 【ヘッド密度 12 本/mm】：104×400 (mm)
1248×4800 (ドット)

最大印字領域はレスプリ T8/R8/T408/R408/T408v/R408v, レスプリ T12/R12/T412/R412/T412v /R412v 共に同サイズですが、ヘッド密度が異なるため、ドット換算すると最大印字領域も上記のように数値が異なります。

標準機における用紙規格の最大幅は 118 (mm) ですが、サーマルヘッドの幅が 104 (mm) であるため、印字可能領域の最大幅は 104 (mm) となります。本プリンタではラベルセンター合わせ方式を採用しているため、幅が 104 (mm) 以上の用紙を使用した場合、用紙両端に印字不可能領域が生じます。

例えば幅 118 (mm) の用紙を使用した場合は、図 1.3.9 に示すように用紙両端に 7 (mm) の印字不可能領域が生じます。

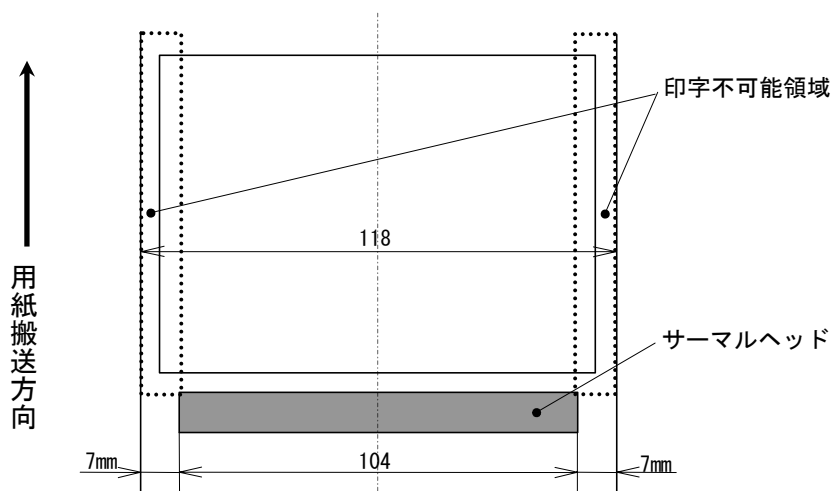


図 1.3.9. 印字可能領域の最大幅

プロパティの「用紙登録」における「印字可能領域」(図 1.3.2 参照)では、最大印字可能領域および使用する用紙の範囲内において、図 1.3.10 に示すように実際に印字される領域を自由に設定することができます(図 1.3.2 中の用語は図 1.3.2 の設定項目に対応しています)。通常は印字可能領域と用紙サイズは等しく設定します。

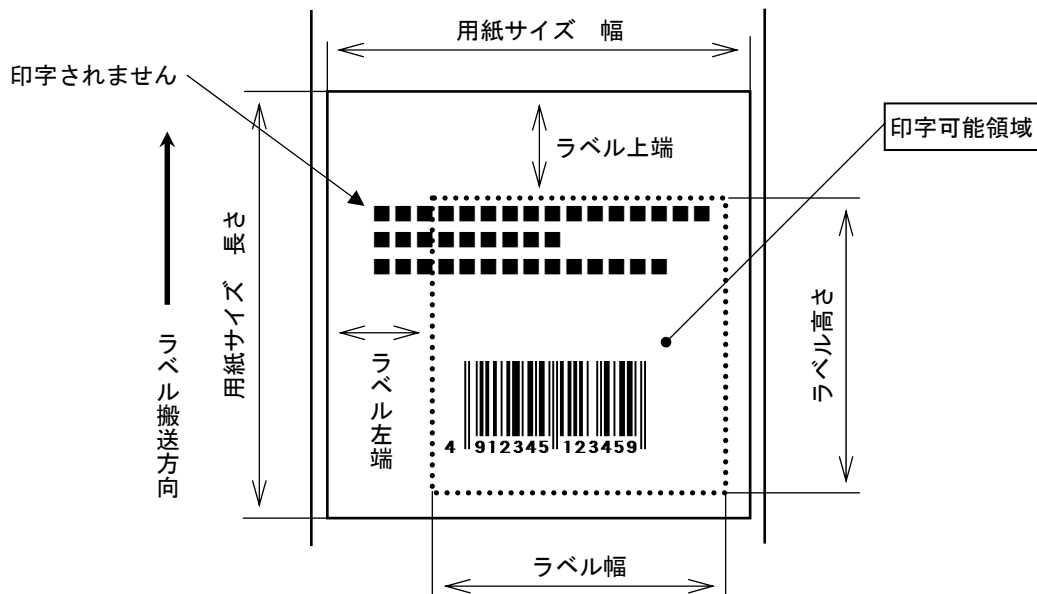


図 1.3.10. プロパティにおける印字可能領域設定

⑤用紙上の印字推奨領域

印字推奨領域は用紙の種類・サイズによって異なります。図 1.3.11 に示すように、のりつきラベルの周り 1.5(mm)、のりなしタグの周り 3(mm)（アイマーク側 1.5(mm)）への印字は推奨していません。

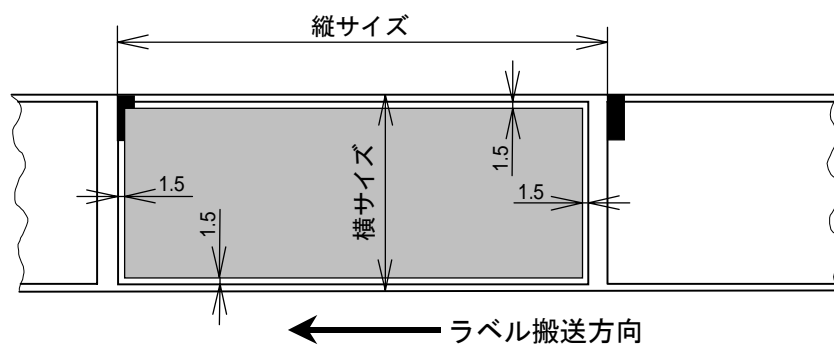
実際に印字レイアウトを作成する際には、用紙搬送に伴うピッチ方向の累積誤差や蛇行による印字ズレを考慮する必要があります。

太線部：ラベル、タグ

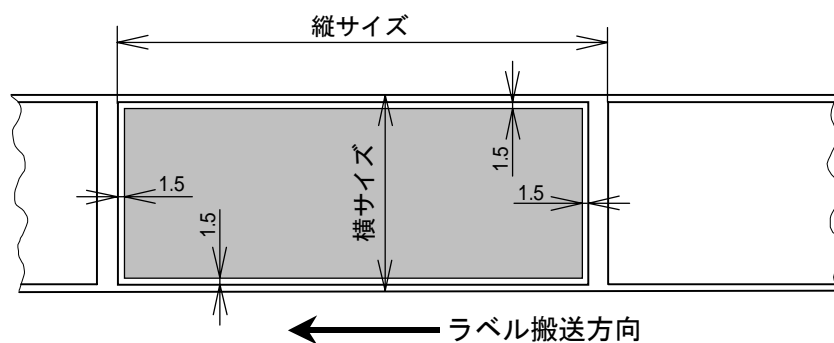
■：印字推奨領域

単位：mm

- ◆のりつきラベル◆
- ◇アイマーク◇



- ◇ラベル間ギャップ◇



- ◆のりなしタグ◆

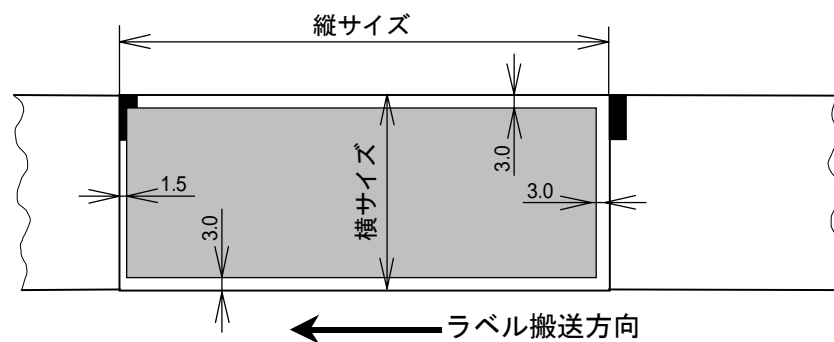


図 1.3.11. 印字推奨領域

1.4. 動作モード

図 1.4 に「動作モード」画面を示します。ここでは以下の設定を行います。

-
- (1) 使用する用紙の仕様を選択します。用紙切れ時の処理が設定されます。
- (2) 文書中の文字列は指定されている色情報に関係無く黒色印字されます。
- (3) 文書中の文字列は指定されている色情報を反映して階調印字されます。
- (4) 濃淡印字を行いません。
- (5) 写真等を印字する場合に指定します(ヘッド密度 12 本/mm のプリンタ推奨)。
- (6) 写真等を印字する場合に指定します(ヘッド密度 8 本/mm のプリンタ推奨)。
- (7) 濃淡の境界がはっきりしたイラスト等を印字する場合に指定します。
- (8) 印字速度を選択します。90 度回転のバーコードや罫線などの印字レイアウトや使用用紙種により、印字速度・濃度の調整が必要になります。
- (9) 用紙位置検出を行うためのセンサを指定します。通常は反射センサタイプを指定してください。
- (10) 用紙搬送動作を選択します。通常は連続となります。各動作に関しては「プリンタ設定ツール説明書」を参照してください。
- (11) 通信制御設定を指定します。「1 ページずつ確認して発行する」チェックボックスにチェックすることで同期通信印刷になります。

図 1.4. 「動作モード」画面

※1. 通信制御設定

ラベルの印字完了を 1 枚（1 アイテム）ごとに確認しながら出力します。

※2. レスプリシリーズのプリンタドライバをレスプリ V シリーズのプリンタで使用した場合

動作モードの「パーシャルカット（バックフィードなし）」、「パーシャルカット（印字中カット）」は使用できなくなります。

1.5. 拡張処理設定

1.5.1. レスプリシリーズの場合

図 1.5.1 に「拡張処理設定」画面を示します。ここでは以下の設定を行います。

- (1) コントロールフォントによるカット処理を使用しません*1。
- (2) コントロールフォントによるカット処理を使用します*1。
- (3) 指定された枚数毎にカットします*1。
- (4) 指定枚数カットを行いません。
- (5) 印刷終了時に用紙をカットします*1。
- (6) 通常印刷を行います。
- (7) 印刷時、呼出しキーで指定されたオーバーレイデータと合成して印刷を行います。
- (8) プリンタのオーバーレイ領域に印字データを書き込みます。実際に印字は行われません。既にオーバーレイデータが格納されている場合は上書きします。「コメント」に入力したオーバーレイデータの説明も同時に登録されます。
- (9) 登録済みオーバーレイデータを削除します。
- (10) 登録済みオーバーレイデータの情報を取得します。

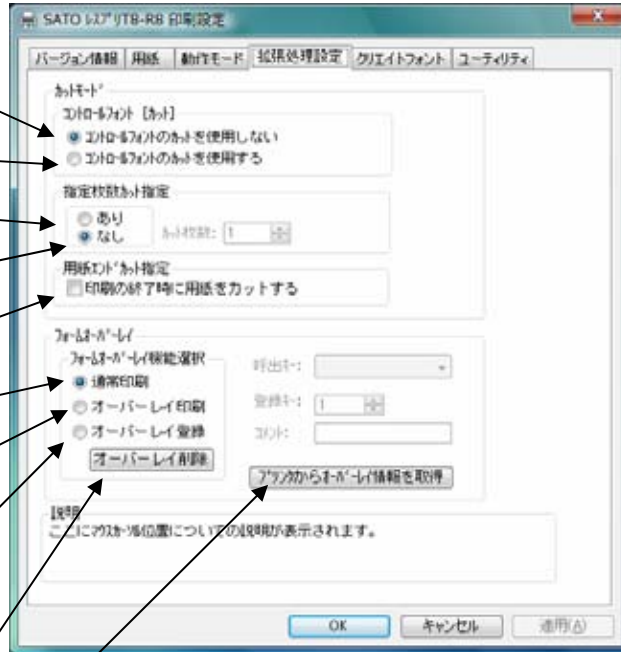


図 1.5.1. 「拡張処理設定」画面

※1. レスプリシリーズのプリンタドライバをレスプリVシリーズプリンタで使用した場合
レスプリVシリーズプリンタの機能である「用紙エンドカット指定」の「動作モードに従う」、「全
カットモード」、「パーシャルカットモード」、「ティアオフモード」の「印刷終了時にティアオフ動
作をさせる」は使用できなくなります。

1.5.2. レスプリVシリーズの場合

図 1.5.2 に「拡張処理設定」画面を示します。ここでは以下の設定を行います。

(1) コントロールフォントによるカット処理を使用しません*1。

(2) コントロールフォントによるカット処理を使用します*1。

(3) 指定された枚数毎にカットします*1。

(4) 指定枚数カットを行いません。

(5) 印刷終了時に用紙をカットします*1。

(6) 印字終了時のカット方法を動作モードに従う、全カット、パースシャルカットの3種類から選びます。ただし、指定枚数カット使用時には、動作モードに従うため選択できません。

(7) 印字終了時に強制的にティアオフ動作をさせます。

(8) 通常印刷を行います。

(9) 印刷時、呼出しキーで指定されたオーバーレイデータと合成して印刷を行います。

(10) プリンタのオーバーレイ領域に印字データを書き込みます。実際に印字は行われません。既にオーバーレイデータが格納されている場合は上書きします。「コメント」に入力したオーバーレイデータの説明も同時に登録されます。

(11) 登録済みオーバーレイデータを削除します。

(12) 登録済みオーバーレイデータの情報を取得します。

図 1.5.2. 「拡張処理設定」画面

* 1) コントロールフォント

コントロールフォントのカットを使用すると、アプリケーションソフトにより印字レイアウトを作成すると同時に、そのレイアウトを印字する際のカット動作も指定することができます。カット指定コマンドには「CT」と「~」の2種類があり、コントロールフォント自体もコマンドの指定方法に応じて2種類あります。

① 「CT」および「~」のカット動作

両コマンド共に何枚毎にカットするのかを指定するものですが、印刷枚数に対する動作が次のように異なります。

例) 指定カット枚数2、印刷枚数3を指定した場合

◇ 「CT」コマンドによるカット動作◇

2枚毎にカットし、全部で3枚発行します。

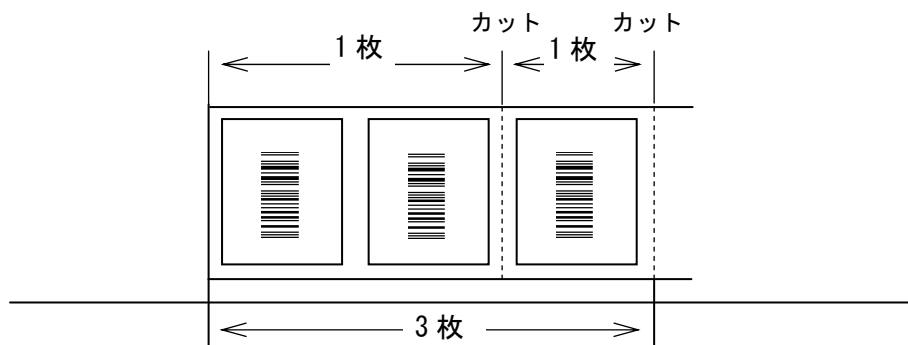


図 1.5.3. 「CT」コマンドによるカット動作

◇ 「~」コマンドによるカット動作◇

2枚毎にカットしたものを3部発行します。

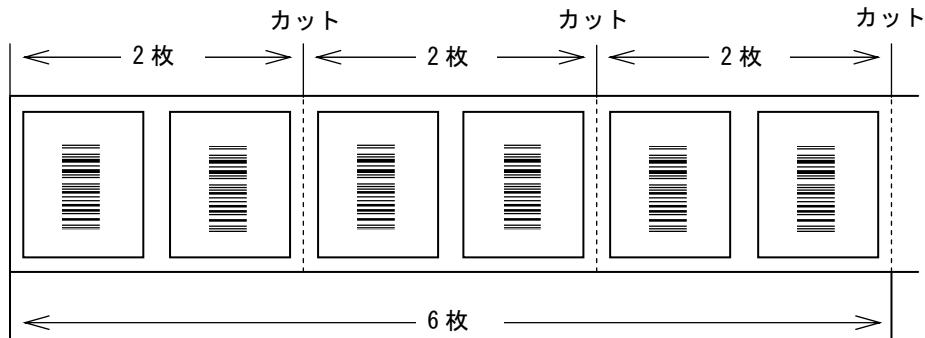


図 1.5.4. 「~」コマンドによるカット動作

②コントロールフォントの種類

コントロールフォントはコマンドの指定方法に応じて2種類あります。

◇プリンタコントロール(コマンド)による指定◇

直接コマンドを入力し、フォントをプリンタコントロール(コマンド)にする。

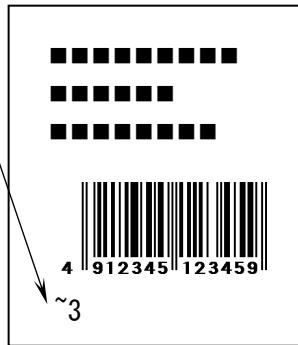
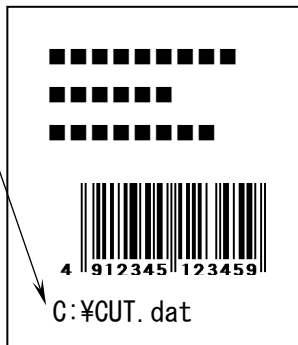


図 1.5.5. プリンタコントロール(コマンド)による指定

◇プリンタコントロール(ファイル)による指定◇

カットコマンドを記述したファイル*を作成しておき、そのファイルの保存場所を入力し、フォントをプリンタコントロール(ファイル)にする。ファイル名は任意に設定できます。



* ファイル記述例

・「CT」コマンド

ESC CT3

└─ 0~999 まで指定可能です。

└─ キャラクタコードで1BHです。

・「~」コマンド

ESC ~3

図 1.5.6. プリンタコントロール(ファイル)による指定

1.6. デバイスの設定

「ユーティリティ」タブの「デバイスの設定」をクリックします。



図 1.6.1. 「ユーティリティ」画面

図 1.6.2 に「デバイスの設定」画面を示します。ここでは以下の設定を行います。

(1) (2)の「情報を取得」により取得したプリンタの設定を表示します。リストから設定を選択することにより一時的に設定を変更することも可能です。変更後は図 1.4 に示す「動作モード」画面の「動作モード」項目の設定内容を確認してください。

(2) 接続されているプリンタの情報を取得します。

(3) 接続されているプリンタのファームウェア情報を取得します。

図 1.6.2. 「デバイスの設定」画面

※1. レスプリシリーズのプリンタドライバをレスプリVシリーズのプリンタで使用した場合「プリンタ設定」の「パーシャルカット」は使用できなくなります。また、「情報取得」を行った際も「プリンタ設定」の「パーシャルカット」は使用できません。

1.7. クリエイトフォント

図 1.7.1 に「クリエイトフォント」画面を示します。ここでは「装飾フォント」と「バーコードフォント」の設定を行います。

「装飾フォント」とは、レジデントフォントに対して倍率や回転角度、連番機能等を任意に設定し、それらの設定を反映させた状態のフォントを1つのフォントとして登録したものです。アプリケーションソフトの書類上にデータを入力し、そのデータのフォントを装飾フォントにすることにより、印字結果には倍率や回転角度、連番等の設定が反映されます（アプリケーションソフトの編集画面上には反映されません）。「バーコードフォント」とは、アプリケーションソフトの書類上に入力したデータのフォントをバーコードフォントにすることにより、印字の際にはそのデータがバーコード化されるというものです。

装飾フォントとバーコードフォントは合計 70 個まで登録可能です。

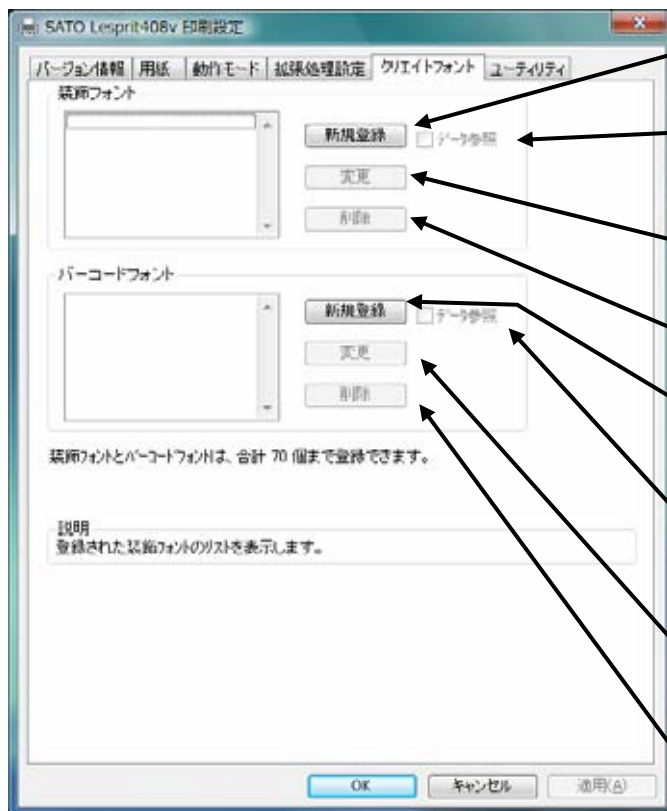


図 1.7.1. 「クリエイトフォント」画面

- (1) 装飾フォントを新規登録します。クリックすることにより図 1.7.2 に示す画面が表示されます。
- (2) チェックしておくことにより、「新規登録」「変更」を選択した際の初期値に、登録済み装飾フォントのデータを適用できます。
- (3) 登録済み装飾フォントの設定を変更できます。クリックすることにより図 1.7.2 に示す画面が表示されます。
- (4) 登録済み装飾フォントを削除します。
- (5) バーコードフォントを新規登録します。クリックすることにより図 1.7.3 に示す画面が表示されます。
- (6) チェックしておくことにより、「新規登録」「変更」を選択した際の初期値に、登録済みバーコードフォントのデータを適用できます。
- (7) 登録済みのバーコードフォントの設定を変更できます。クリックすることにより図 1.7.3 に示す画面が表示されます。
- (8) 登録済みのバーコードフォントを削除します。

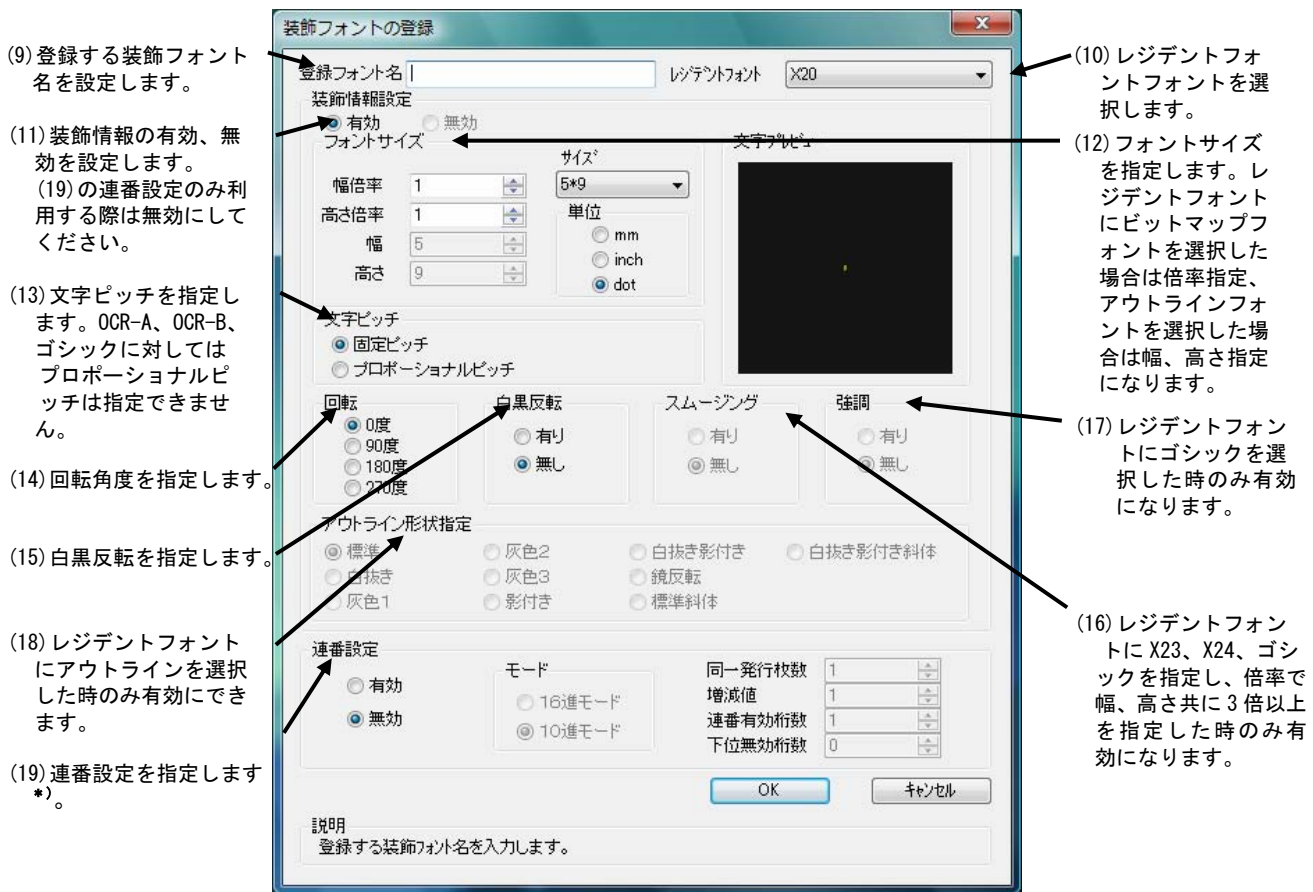


図 1.7.2. 「装飾フォントの登録」画面

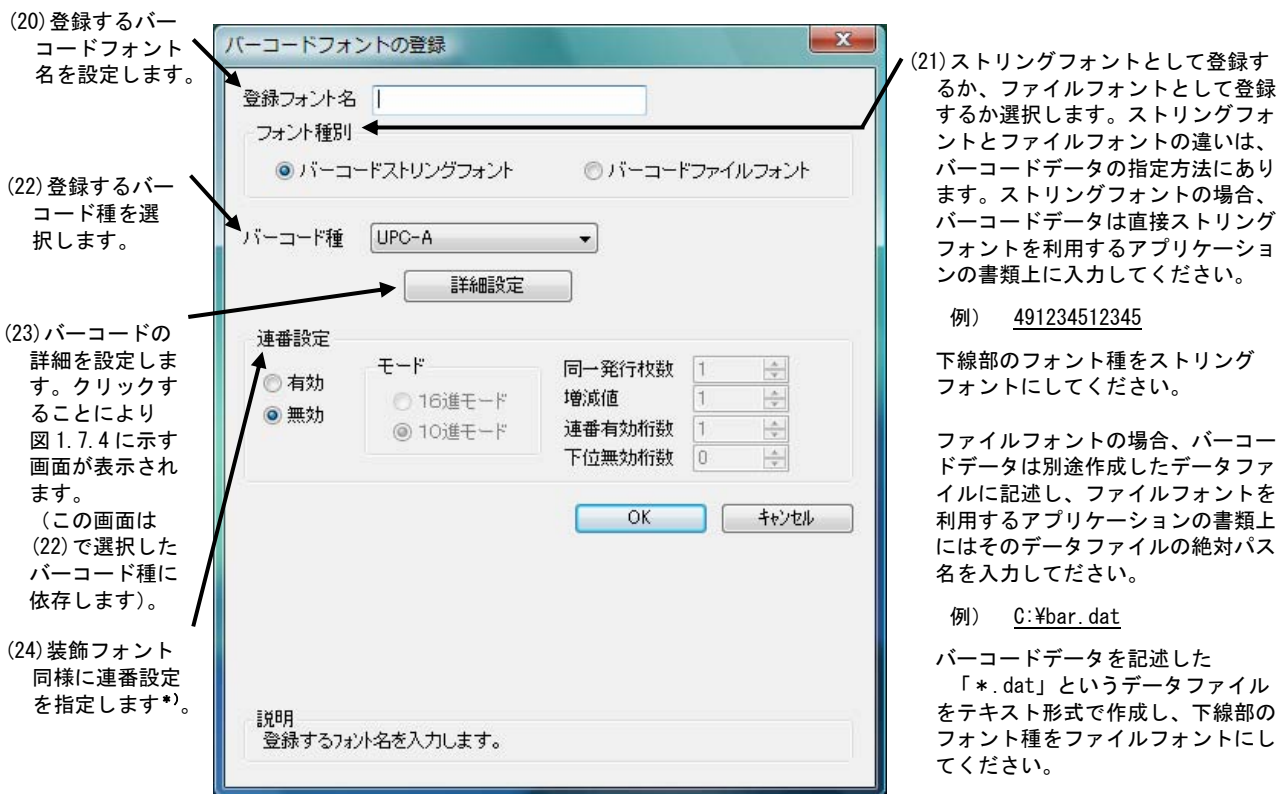


図 1.7.3. 「バーコードフォントの登録」画面



図 1.7.4. 「UPC-A 詳細設定」画面

図 1.7.3 の(22)「バーコード種」で選択したバーコードに対応した詳細設定ダイアログが表示されます。以下に登録可能なバーコードの種類を示します。

- UPC-A
- UPC-E
- JAN-8/ENA-8
- JAN-13/ENA-13
- CODE39
- CODE93
- CODE128 (128A, 128B, 128C)
- GS1-128 (UCC/EAN-128)
- ITF
- インダストリアル 2of5
- マトリクス 2of5
- CODABAR (NW-7)
- カスタマバーコード
- QR コード (モデル 1)
- QR コード (モデル 2)
- QR コード (マイクロ QR)
- PDF417
- MAXI コード
- GS1 データマトリクス (ECC200)
- マイクロ PDF
- 合成シンボル
- UPC アドオンコード

*) 連番設定例

図 1.7.2(19)、図 1.7.3(24)の連番設定における各項目の内容を以下に示します。

- 有効・無効 : 連番設定を有効にするか無効にするか選択します。無効にする際は図 1.7.2 (11)の装飾情報設定が有効になっている必要があります。
- 16 進モード・10 進モード : 連番の対象を 16 進数とみなすか 10 進数とみなすか設定します。
- 同一発行枚数 : 何枚発行する度に連番させるか設定します。
- 増減値 : 連番毎の加算値または減算値を設定します。
- 連番有効桁数 : 連番させる桁数を設定します。
- 下位無効桁数 : 連番させる最小桁以下の桁数を設定します。

モード : 16 進モード 同一発行枚数 : 2 増減値 : 5 連番有効桁数 : 2 下位無効桁数 : 3

印字データの初期値 : 00F8001 とした場合

連番有効桁は図 1.7.5 に示すようになります。

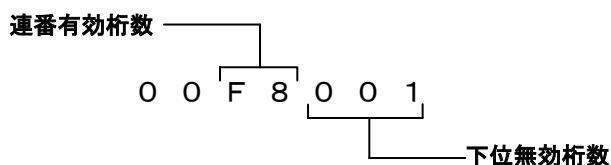


図 1.7.5. 連番有効桁

連番動作は図 1.7.6 に示すようになります。

発行枚数	印字データ	
1 枚目	00 <u>F8</u> 001	同一発行枚数 2
2 枚目	00 <u>F8</u> 001	
3 枚目	00 <u>FD</u> 001	
4 枚目	00 <u>FD</u> 001	
5 枚目	00 <u>02</u> 001	
6 枚目	00 <u>02</u> 001	
7 枚目	00 <u>07</u> 001	
8 枚目	00 <u>07</u> 001	

図 1.7.6. 連番動作

1.8. ダウンロードフォント・ロゴフォント情報

「ユーティリティ」タブの「ダウンロードフォント・ロゴフォント情報」をクリックします。



図 1.8.1. 「ユーティリティ」画面

図 1.8.2 に「ダウンロードフォント・ロゴフォント情報」画面を示します。

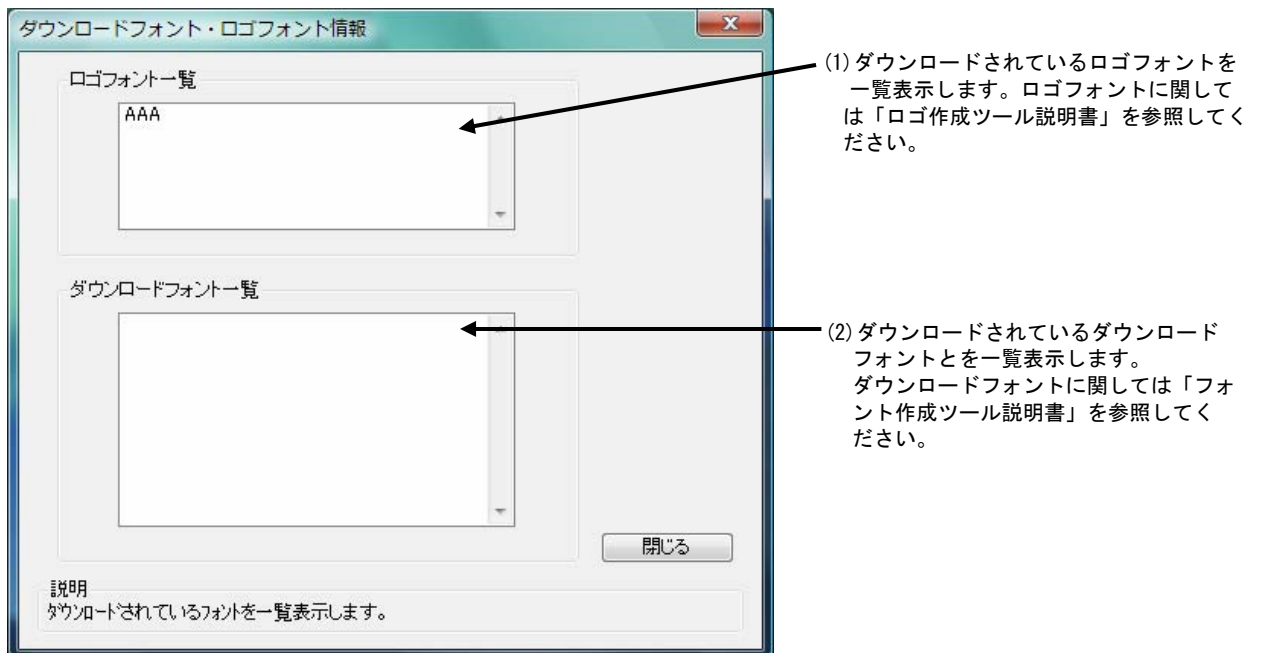


図 1.8.2. 「ダウンロードフォント・ロゴフォント情報」画面

1.9. 設定情報の読みだし・保存

「ユーティリティ」タブの「設定情報の読みだし・保存」をクリックします。

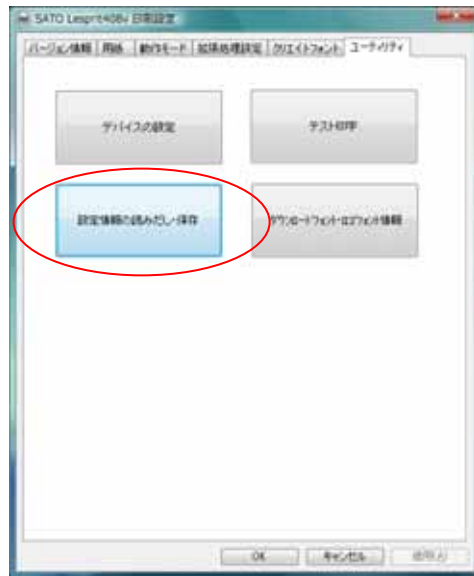


図 1.9.1. 「ユーティリティ」画面

図 1.9.2 に「設定情報の読みだし・保存」画面を示します。ここではプロパティの各タブで設定した値をインisialファイルとして保存したり、保存されたインisialファイルを読み込むことにより、各設定を一括設定することができます。

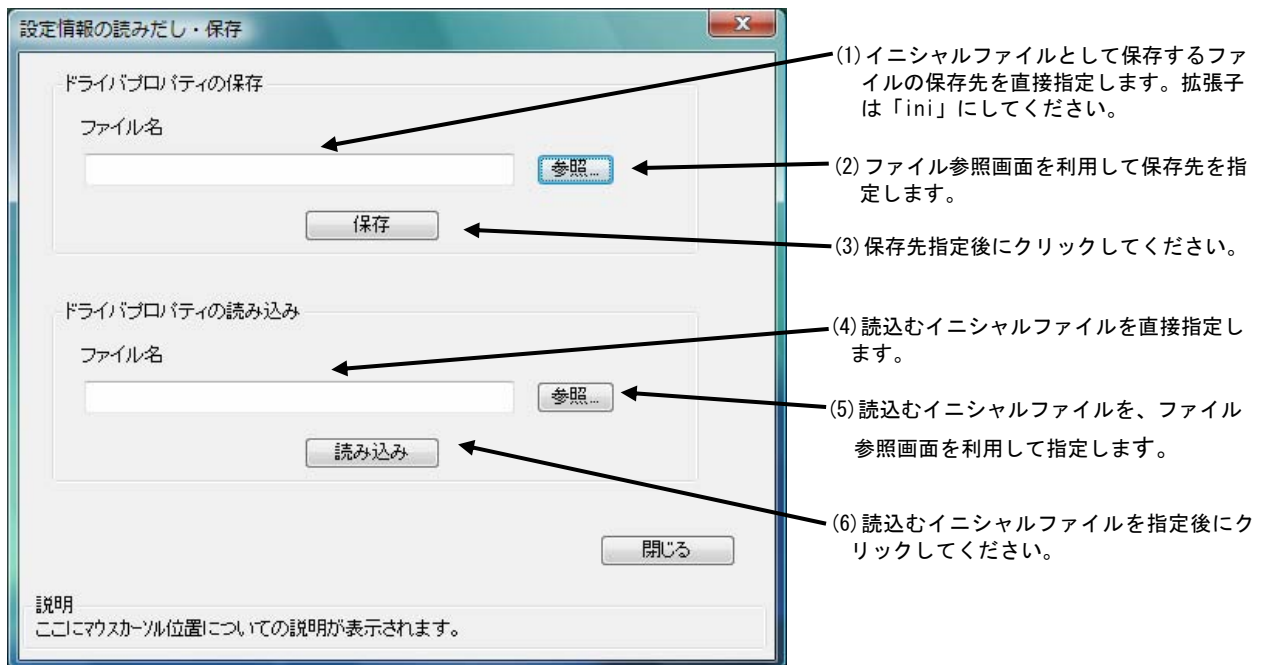


図 1.9.2. 「設定情報の読みだし・保存」画面

1.10. テスト印字

「ユーティリティ」タブの「テスト印字」をクリックします。

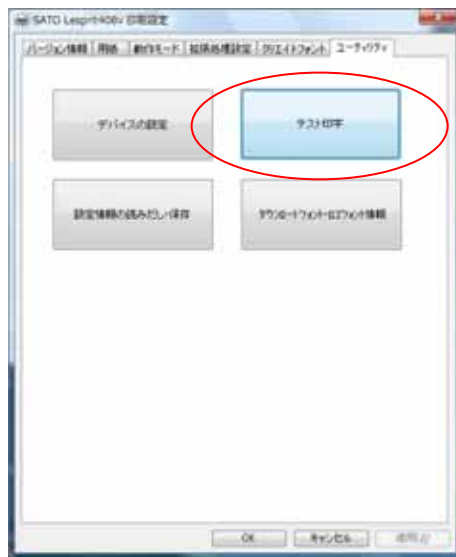


図 1.10.1. 「ユーティリティ」画面

図 1.10.2 に「テスト印字」画面を示します。ここでは以下の設定を行います。

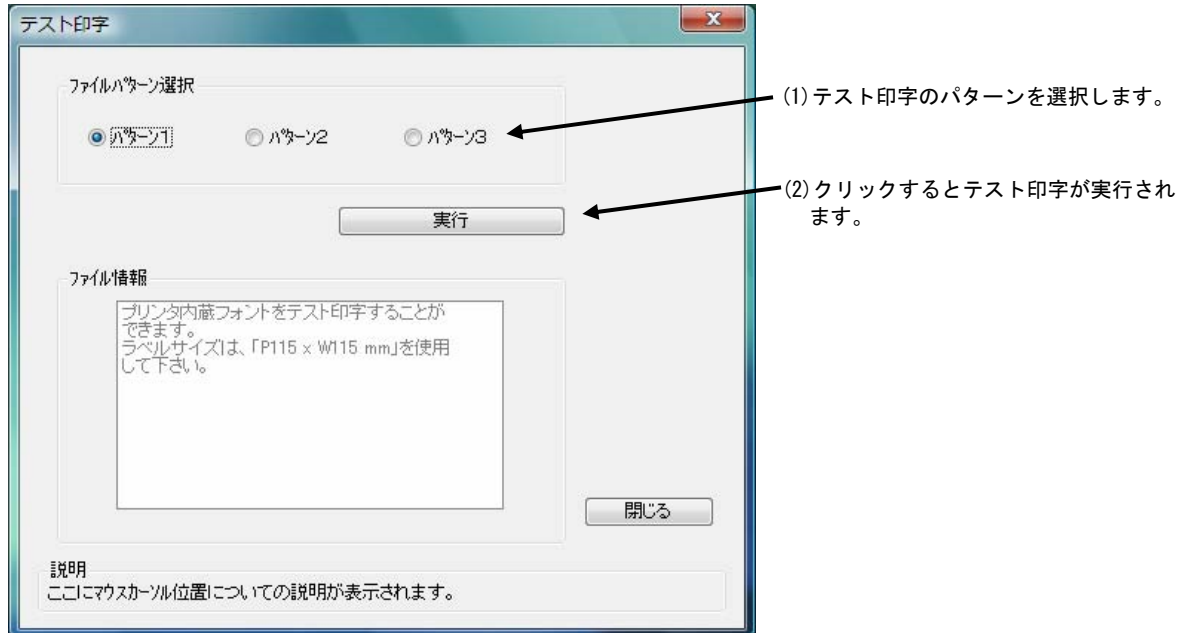


図 1.10.2. 「テスト印字」画面

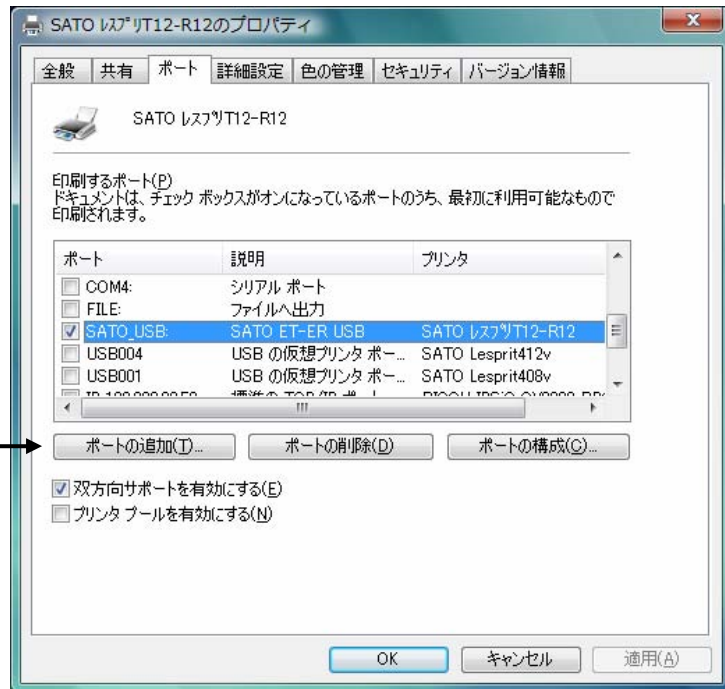
1.11. サトー専用ポートの追加設定手順

「印刷先のポート」に「サトー専用ポート」を選択すると、各ポートに対して詳細な設定が可能となります。以下にサトー専用ポートの追加手順と各ポートの設定手順を示します。

※本章では「SATO レスプリT12-R12」プリンタを使用して説明します。

1.11.1. サトー専用ポートの追加手順

図 1.11.1.1 に「ポート」画面を示します。



- (1) 「ポートの追加(I)…」をクリックしてください。図 1.11.1.2 に示すダイアログが表示されます。

図 1.11.1.1. 「ポート」画面

- (2) 「SATO ET-ER … Port Monitor」の中らご使用になる接続先デバイスに対応したものを選択し「新しいポート(P)…」ボタンをクリックしてください。
図 1.11.1.3～図 1.11.1.6 に示すように、追加するポートに対応した画面が表示されます。

- 接続先デバイスが COM ポートのとき選択してください。
- 接続先デバイスが LAN ポートのとき選択してください。
- 接続先デバイスが LPT ポートのとき選択してください。
- 接続先デバイスが USB ポートのとき選択してください。



※レスプリ V シリーズは USB Port Monitor を選択することはできません。

図 1.11.1.2. 「ポート追加」画面

① シリアルポート

(レスプリシリーズ、レスプリ400シリーズ : SATO ET-ER COM、レスプリVシリーズ : SATO Lesprit400v COM)



※COMポートの設定はレスプリシリーズ、レスプリ400シリーズはCOM1～COM9まで、レスプリVシリーズはCOM1～COM20までとなります。

図 1.11.1.3. 「SATO COMポートの追加」画面

② IEEE1284ポート

(レスプリシリーズ、レスプリ400シリーズ : SATO ET-ER LPT、レスプリVシリーズ : SATO Lesprit400v LPT)

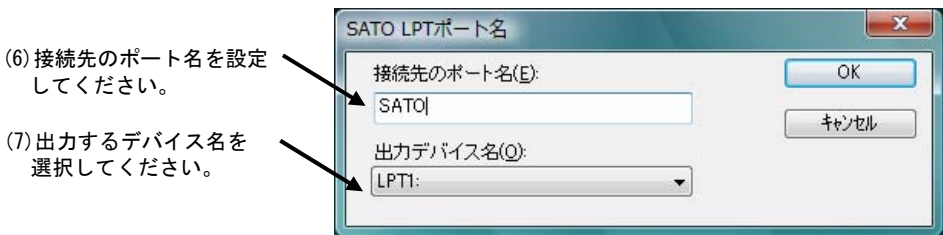
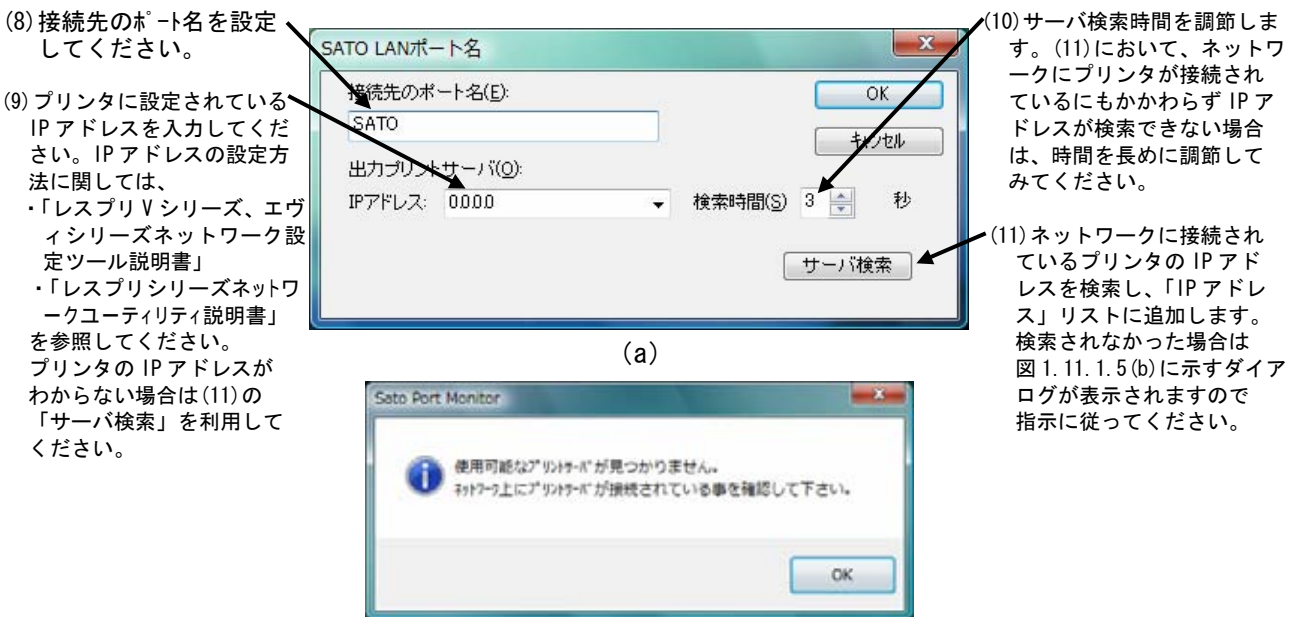


図 1.11.1.4. 「SATO LPTポートの追加」画面

③ LANポート

(レスプリシリーズ、レスプリ400シリーズ : SATO ET-ER LAN、レスプリVシリーズ : SATO Lesprit400v LAN)



(a)

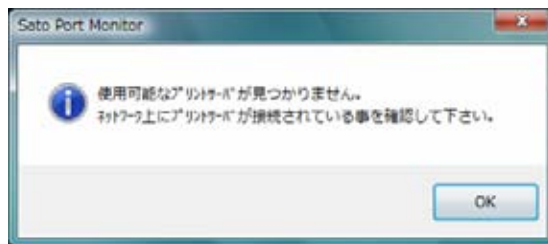
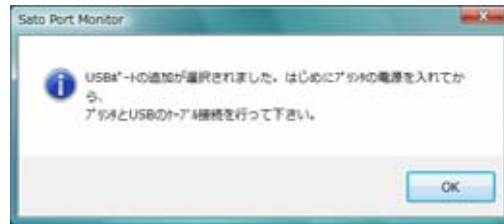


図 1.11.1.5. 「SATO LANポートの追加」画面

④ USB ポート

(レスプリシリーズ、レスプリ400シリーズ：SATO ET-ER USB、レスプリVシリーズ：OS標準USBポート)
「USB インタフェースマニュアル」も参照してください。

(12) 指示に従い、「OK」ボタンをクリックしてください。



(a)

(13) 使用されているPCにUSBデバイスがインストールされていないと表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

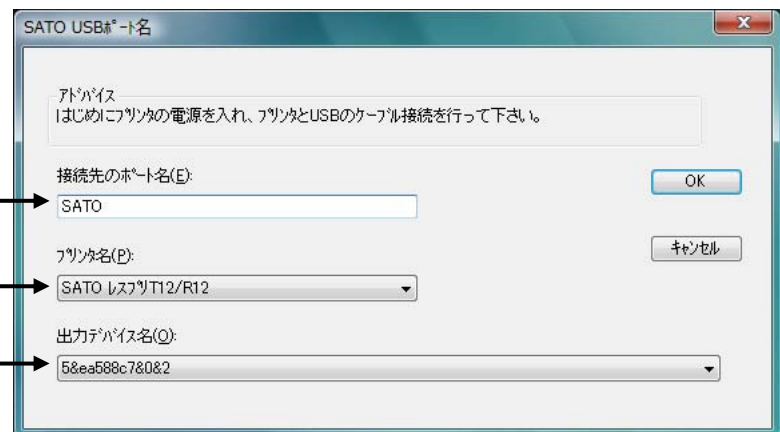


(b)

(14) 接続先のポート名を設定してください。

(15) 使用するプリンタ名を選択してください。

(16) 出力デバイス名を選択してください。



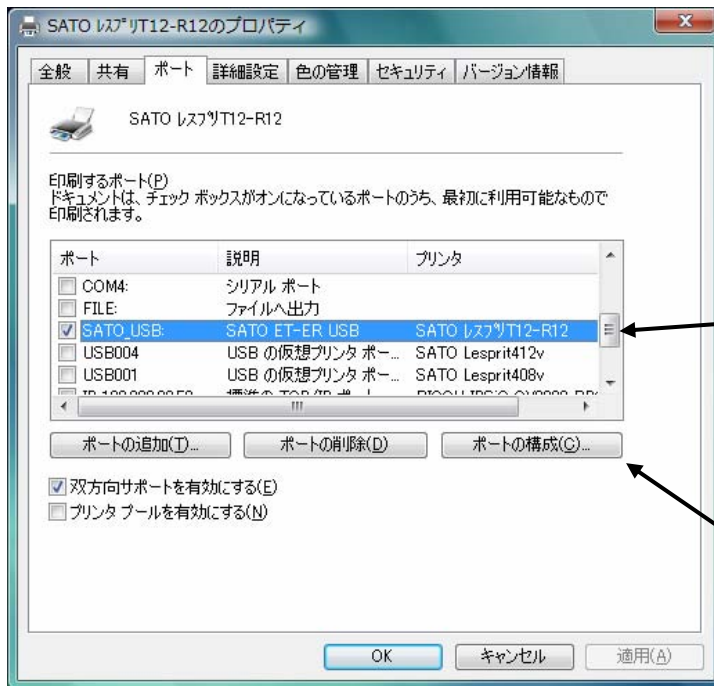
(c)

図 1.11.1.6. 「SATO USB ポートの追加」画面

※OS標準のUSBポートには、設定画面はありません

1.11.2. サトー専用ポートの設定手順

図 1.11.2.1 に「ポート」画面を示します。



(1) 設定を行うサトー専用ポートを選択してください。

(2) 「ポートの構成 (C)」をクリックしてください。図 1.11.2.2～図 1.11.2.5 に示すように (1) で選択したポートに対応した画面が表示されます。

図 1.11.2.1. 「ポート」画面

① シリアルポート

(レスプリシリーズ、レスプリ400シリーズ：SATO ET-ER COM、レスプリVシリーズ：SATO Lesprit400v COM)

図 1.11.2.2 に「SATO COM ポートの設定」画面を示します。

(1) ボーレートを選択します*。
 (2) データビット数を選択します*。
 (3) パリティビットを選択します*。
 (4) ストップビットを選択します*。
 (5) フロー制御を選択します*。
 (6) 設定を初期値にします。
 (7) ダウンロード用送受信間隔タイムアウトを設定する時にチェックしてください。これはフォント作成ツール、ロゴ作成ツールを使用して、フォント、ロゴをプリンタにダウンロードする時に、プリンタとのステータスを確実にを行うための指定です。チェックすることにより、「ダウンロード用送受信間隔タイム」のみが入力可能な状態になります。「フォント作成ツール」「ロゴ作成ツール」に関しては「フォント作成ツール説明書」「ロゴ作成ツール説明書」を参照してください。

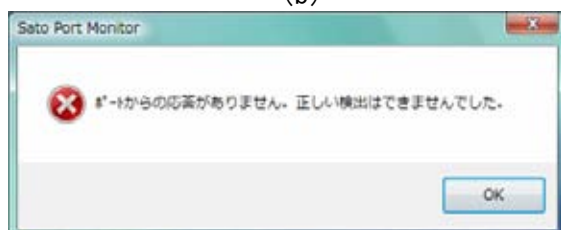
ボーレート	: 19200
データビット	: 8
パリティ	: なし
ストップビット	: 1
フロー制御	: なし

*) (1)～(5)の設定値はプリンタ側の設定値と等しくしてください。プリンタ側の設定はシリアルインタフェースボードのディップスイッチにて行います。

(a)



(b)



(c)

(8) 送受信間隔タイム検出

プリンタの電源を立ち上げた状態で「送受信間隔タイム検出」ボタンをクリックすると、プリンタとの送受信に対するタイムアウト値を適正な値にします。適正なタイムアウト値を検出したときは、図 1.11.2.2(b)に示すダイアログが表示されます。適正な値にすることで、プリンタとの双方向通信応答速度が向上します。プリンタの電源が切れているとき、接続インタフェース設定が間違っているとき、インタフェースケーブルが接続されていないときは送受信間隔タイム検出はできません(図 1.11.2.2(c)に示すダイアログが表示されます)。

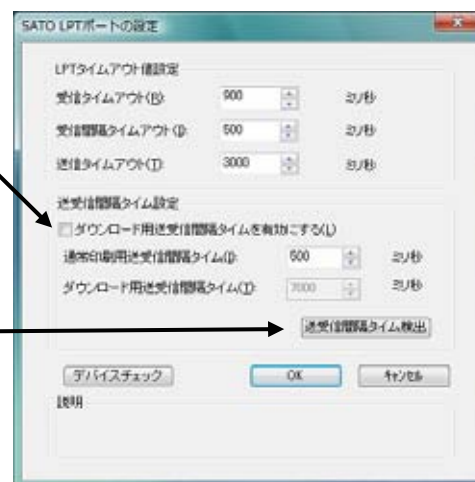
図 1.11.2.2. 「SATO COM ポートの設定」画面

② IEEE1284 ポート

(レプ[®] リシリーズ、レプ[®] リ400シリーズ : SATO ET-ER LPT、レプ[®] リVシリーズ : SATO Lesprit400v LPT)

図 1.11.2.3 に「SATO LPT ポートの設定」画面を示します。

- (1) ダウンロード用送受信間隔タイムアウトを設定する時にチェックしてください。これはフォント作成ツール、ロゴ作成ツールを使用して、フォント、ロゴをプリンタにダウンロードする時に、プリンタとのステータスを確実にを行うための指定です。チェックすることにより、「ダウンロード用送受信間隔タイム」のみが入力可能な状態になります。「フォント作成ツール」「ロゴ作成ツール」に関しては「フォント作成ツール説明書」「ロゴ作成ツール説明書」を参照してください。
- (2) プリンタの電源を立ち上げた状態で、「送受信間隔タイム検出」ボタンをクリックすると、プリンタとの送受信に対するタイムアウト値を適正な値にします。適正な値にすることで、プリンタとの双方向通信応答速度が向上します。適正なタイムアウト値を検出したときは、図 1.11.2.3(b) に示すダイアログが表示されます。プリンタの電源が切れているとき、接続インタフェースが違っているとき、インタフェースケーブルが接続されていないときは、送受信間隔タイム検出はできません (図 1.11.2.3(c) に示すダイアログが表示されます)。



(a)



(b)



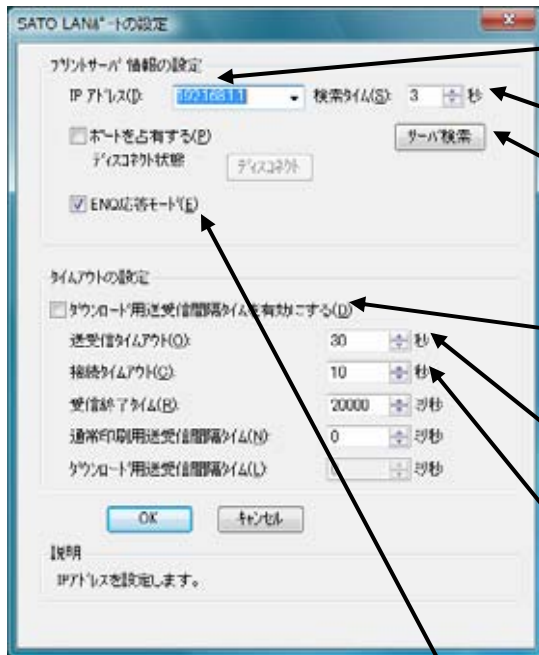
(c)

図 1.11.2.3. 「SATO LPT ポートの設定」画面

③ LAN ポート

(レスプリシリーズ、レスプリ400シリーズ : SATO ET-ER LAN、レスプリVシリーズ : SATO Lesprit400v LAN)

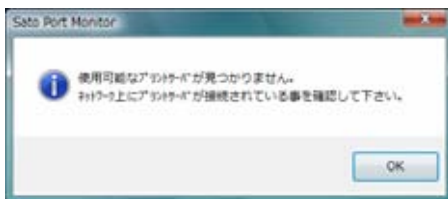
図 1.11.2.4 に「SATO LAN ポートの設定」画面を示します。



(a) レスプリ・レスプリ400シリーズ LAN ポート



(b) レスプリVシリーズ LAN ポート



(c)

- (1) ネットワークに接続されているプリンタの IP アドレスを入力してください。IP アドレスの設定方法に関しては、
・「レスプリVシリーズ エイシリーズ ネットワーク設定ツール説明書」
・「レスプリシリーズ ネットワークユーティリティ説明書」
を参照してください。プリンタに設定されている IP アドレスがわからない場合は (2) の「サーバ検索」を利用して
ください。
- (2) ネットワークに接続されているプリンタの IP アドレスを検索し、「IP アドレス」リストに追加します。検索されなかった場合は図 1.11.2.4(c) に示すダイアログが表示されますので指示に従ってください。
- (3) サーバ検索時間を調節します。(2) において、ネットワークにプリンタが接続されているにもかかわらず IP アドレスが検索されなかった場合は、時間を長めに調節してみてください。
- (4) 送受信のタイムアウト値を設定します。プリントサーバにデータ送信時、失敗した場合タイムアウト値まで送信を繰り返します。
※無線 LAN 使用時には、送受信タイムアウトが 30 秒では不足する場合があります。その場合には、時間を 60 秒以上に設定してください。
- (5) プリントサーバへの接続時のタイムアウト値を設定します。
- (6) ダウンロード用送受信間隔タイムアウトを設定する時にチェックしてください。これはフォント作成ツール、ロゴ作成ツールを使用して、フォント、ロゴをプリンタにダウンロードする時に、プリンタとのステータスを確実にを行うための指定です。チェックすることにより、「ダウンロード用送受信間隔タイム」のみが入力可能な状態になります。
「フォント作成ツール」「ロゴ作成ツール」に関しては「フォント作成ツール説明書」「ロゴ作成ツール説明書」を参照してください。
- (7) ステータスチェックを ENQ 応答にする場合にチェックします。なお、プリンタ側の設定は、必ず同じにしてください。異なる設定の場合には、正常動作しません。

図 1.11.2.4. 「SATO LAN ポートの設定」画面

④ USB ポート

(レスプリシリーズ、レスプリ400シリーズ：SATO ET-ER USB、レスプリVシリーズ：OS標準USBポート)

「USB インターフェスマニュアル」も参照してください。

図 1.11.2.5 に「SATO USB ポートの設定」画面を示します。



(a)

(1) ダウンロード用送受信間隔タイムアウトを設定する時にチェックしてください。これはフォント作成ツール、ロゴ作成ツールを使用して、フォント、ロゴをプリンタにダウンロードする時に、プリンタとのステータスを確実にを行うための指定です。チェックすることにより、「ダウンロード用送受信間隔タイム」のみが入力可能な状態になります。「フォント作成ツール」「ロゴ作成ツール」に関しては、「フォント作成ツール説明書」「ロゴ作成ツール説明書」を参照してください。

(2) プリンタと USB ポートとの接続状況を確認します。接続状況により図 1.11.2.5 (b)～図 1.11.2.5 (c) に示すダイアログが表示されます。



(b)

図 1.11.2.5 (b) 画面のエラーの改善方法

- ①プリンタの電源が入っているか確認してください。
- ②USB ケーブルが接続しているか確認してください。



(c)

図 1.11.2.5 (c) 画面のエラーの改善方法

- ①プリンタの電源が入っているか確認してください。
- ②USB ケーブルが接続しているか確認してください。

図 1.11.2.5. 「SATO USB ポートの設定」画面

※OS 標準の USB ポートには、設定画面はありません。

2. インストーラ起動手順

2.1. メインメニュー画面

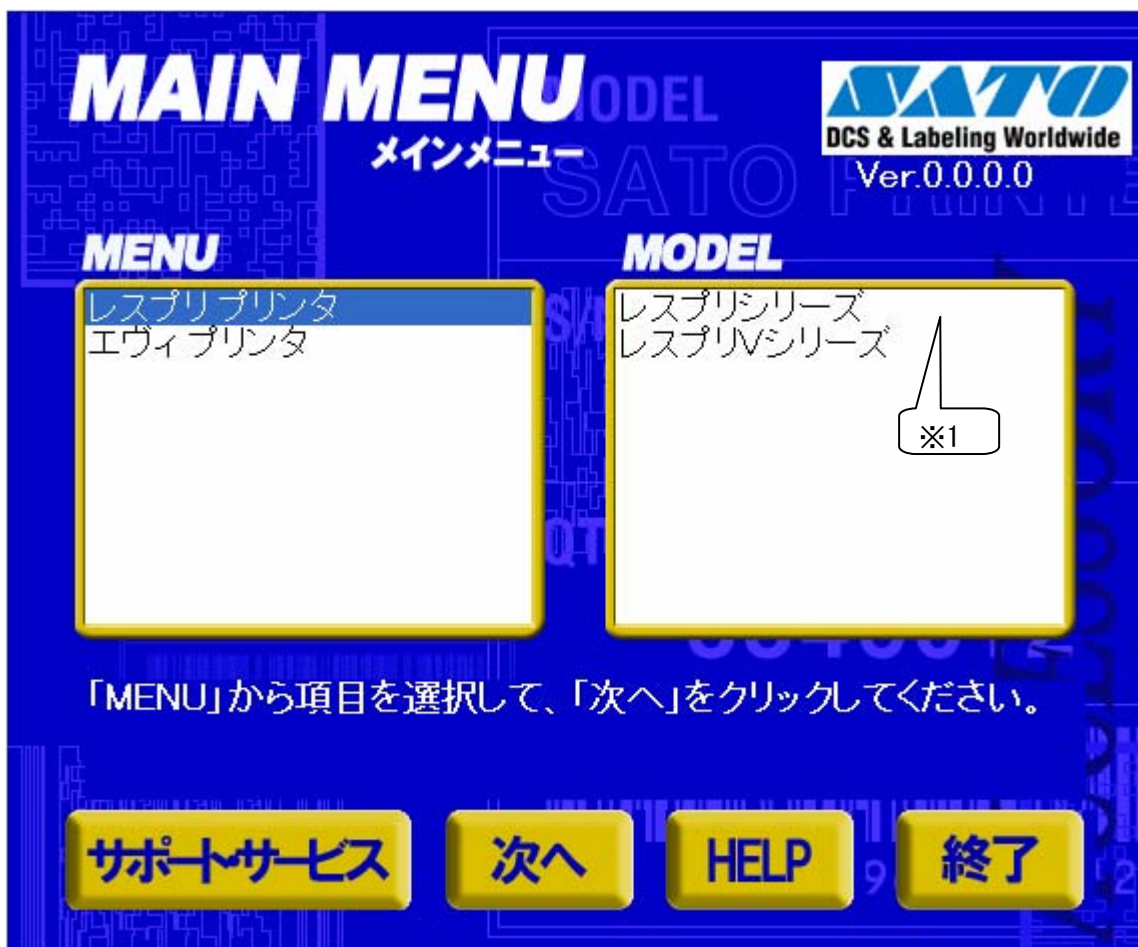


図 2.1 メインメニュー画面

「SATO アクセサリ CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットしてください。自動的²に図 2.1 に示す画面が表示されますので、画面中「MENU」で「レスプリプリンタ」を選択し、「次へ」をクリックします。

- 1 「MODEL」に表示されている機種をダブルクリックすることにより、対応するプリンタドライバのインストール方法選択画面を起動することができます（「2.4 プリンタドライバのインストール方法選択画面」を参照してください）。
- 2 図 2.1 の画面が自動的に表示されない場合は、アクセサリ CD-ROM 内の「AccInstall.exe」をダブルクリックしてください。

2.2. プリンタメニュー画面



図 2.2 プリンタメニュー画面

「図 2.2 プリンタメニュー画面」で「プリンタドライバ」をクリックします。

2.3. プリンタドライバ画面

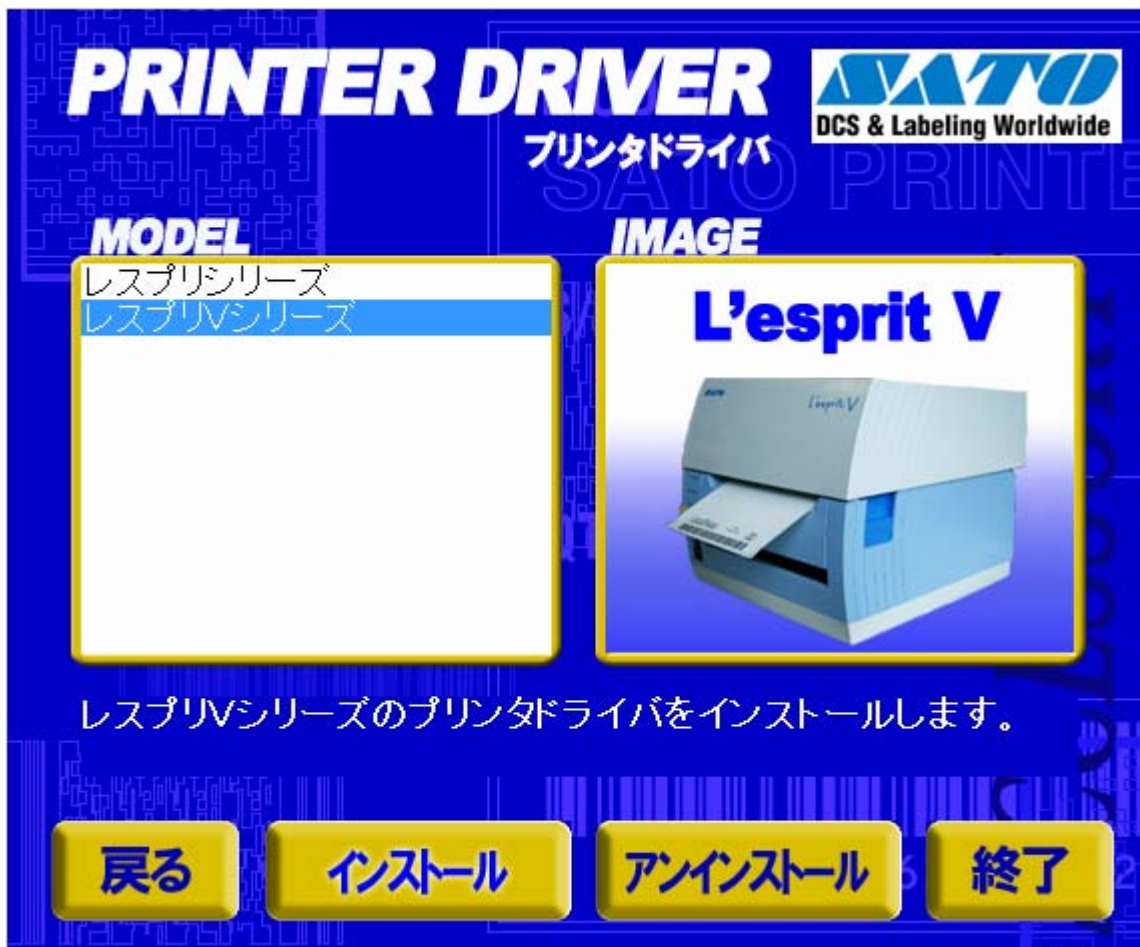


図 2.3 プリンタドライバ画面

「図 2.3 プリンタドライバ画面」の「MODEL」で「レスプリVシリーズ」または「レスプリシリーズ」を選択し、

「インストール」をクリックすると、「3. インストール手順」

「アンインストール」をクリックすると、「4. アンインストール手順」

に進みます。

2.4. プリンタドライバのインストール方法選択画面

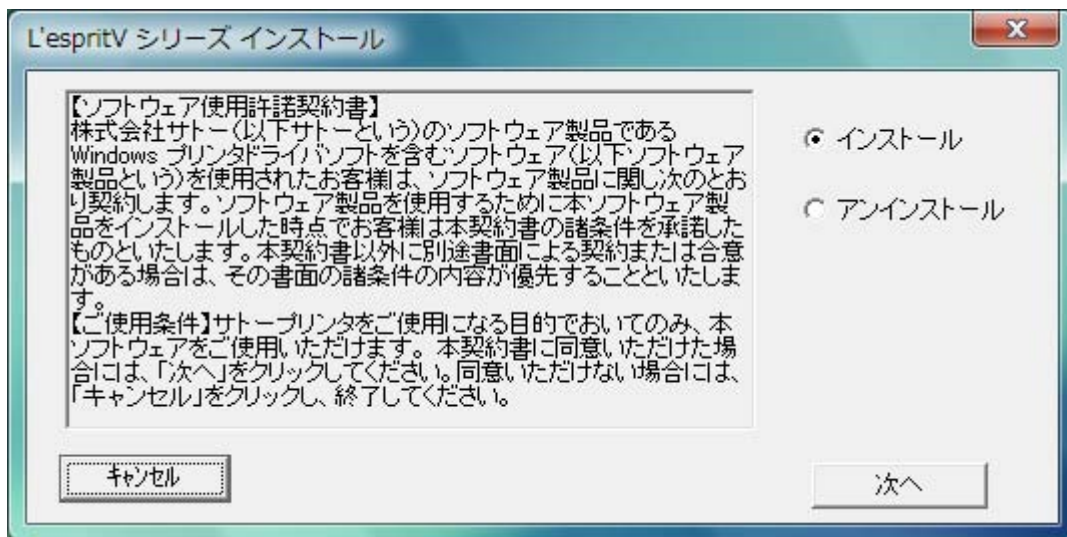


図 2.4 プリンタドライバのインストール方法選択画面

「2.1 メインメニュー画面」でプリンタ名をダブルクリックすることにより、本画面が表示されます。

- | | |
|---------|--|
| 「次へ」 | 「インストール」選択時は、「3. インストール手順」へ進みます。
「アンインストール」選択時は、「4. アンインストール手順」へ進みます。 |
| 「キャンセル」 | 処理を中止し、本画面を閉じます。 |

3. インストール手順

3.1. プリンタドライバ インストール画面

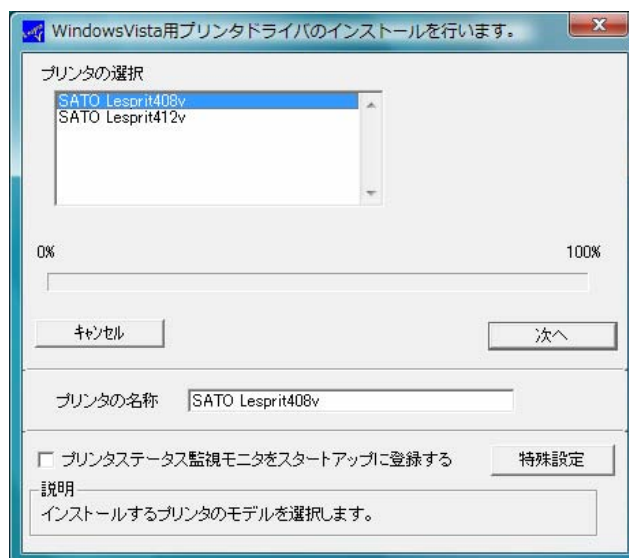


図 3.1.1 インストール画面

「プリンタの選択」でインストールするプリンタを選択し、「プリンタの名称」にプリンタ名称を入力してください。「次へ」をクリックするとインストール処理を開始します。

「次へ」をクリックすると、Windows Vista では「図 3.1.2.1 セキュリティ警告 (Windows Vista) 画面」が表示されますので、「このドライバソフトウェアをインストールします (I)」を選択してください。(Windows XP/Server2003/Server2008 ではメッセージ内容が異なります。インストール継続を選択してください。)

「キャンセル」をクリックするとインストール処理をキャンセルします。

プリンタを選択した時点で「プリンタの名称」に選択したプリンタの名称がコピー表示されます。

本画面での他の機能については以下の通りです。

「プリンタステータス監視モニタをスタートアップに登録する」

ステータス監視モニタをスタートアップに登録する場合にチェックします。

「特殊設定」

インストールの条件を指定します。詳細は「3.5 特殊設定画面」を参照してください。

「バージョン表示」

タイトルバー上でマウスを右クリックしてバージョンを表示することができます。

- 1 「次へ」をクリックするとインストール処理を開始しますが、Windows Vista の場合 OS の動作状況により、「3.2 接続先ポート指定画面」への移行に時間がかかる場合があります。

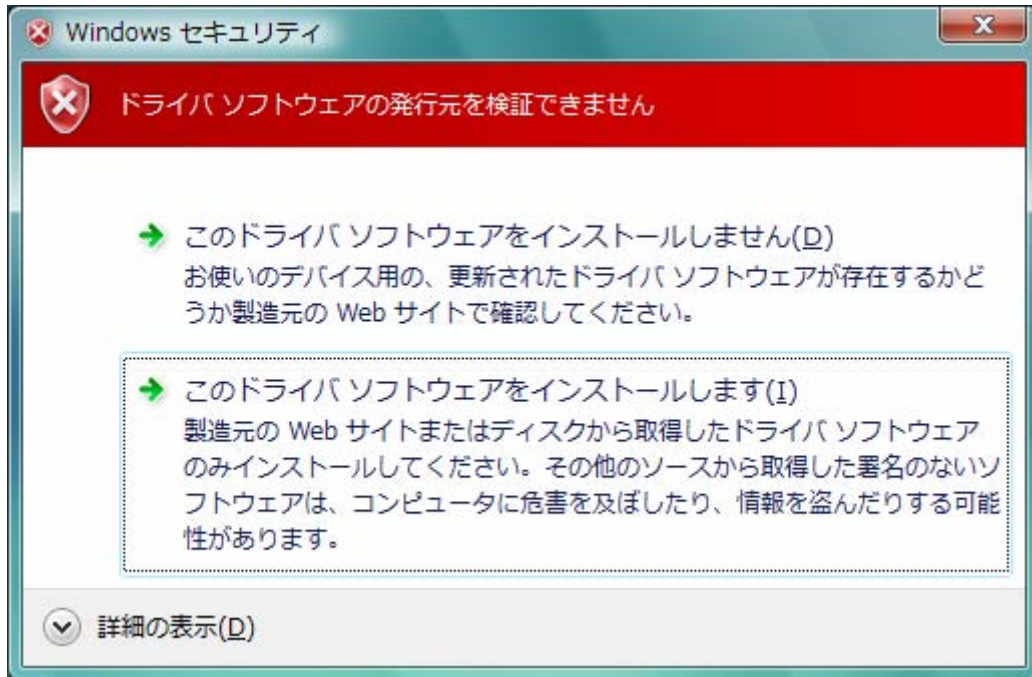


図 3.1.2.1 セキュリティ警告 (Windows Vista) 画面

3.2. 接続先ポート指定画面

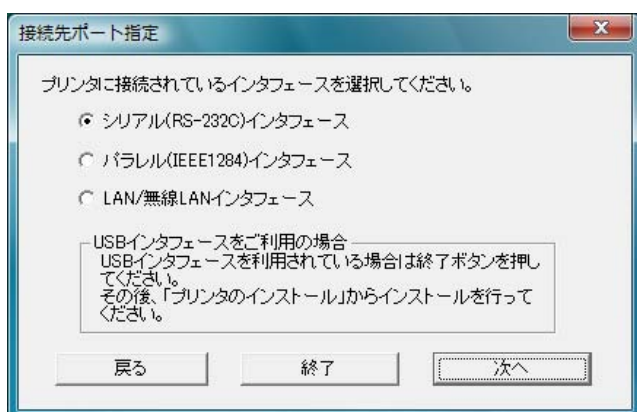


図 3.2.1 接続先ポート指定画面
レスプリVシリーズの場合

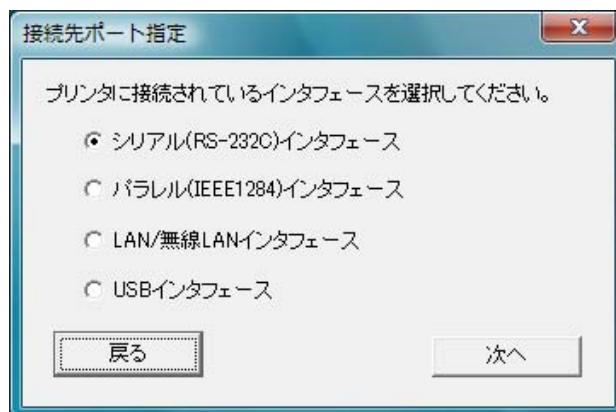


図 3.2.2 接続先ポート指定画面
レスプリシリーズの場合

プリンタに接続されているインタフェースを選択し、「次へ」をクリックすると

レスプリVシリーズ(図 3.2.1)の場合は、

- ・「シリアル(RS-232C)インタフェース」選択の場合
- ・「パラレル(IEEE1284)インタフェース」選択の場合
- ・「LAN/無線LANインタフェース」選択の場合
- ・「USBインタフェース」選択の場合

「3.3.1 シリアルポート選択画面」

「3.3.3 IEEE1284ポート選択画面」

「3.3.5 SATO LANポート登録画面」

「終了」をクリックし、プリンタドライバインストールを終了させてください。

注意事項を参照してください。

レスプリシリーズ(図 3.2.2)の場合は、

- ・「シリアル(RS-232C)インタフェース」選択の場合
- ・「パラレル(IEEE1284)インタフェース」選択の場合
- ・「LAN/無線LANインタフェース」選択の場合
- ・「USBインタフェース」選択の場合

「3.3.1 シリアルポート選択画面」

「3.3.3 IEEE1284ポート選択画面」

「3.3.5 SATO LANポート登録画面」

「3.3.6 SATO USBポート登録画面」

へ進みます。

「戻る」をクリックすると「3.1 プリンタドライバインストール画面」へ戻ります。

注意事項

レスプリVシリーズはUSBインタフェースを使用する場合、標準印刷サポートのみの対応となっています。

USB標準印刷サポートを使用する場合は、本画面(図3.2.1)にて「終了」をクリックしてプリンタドライバインストール処理を終了させ、Windowsのインストール処理を実施してください。インストール方法は「5. USB標準印刷サポートのインストール方法」で説明します。

3.3. ポート選択画面

3.3.1. シリアルポート選択画面



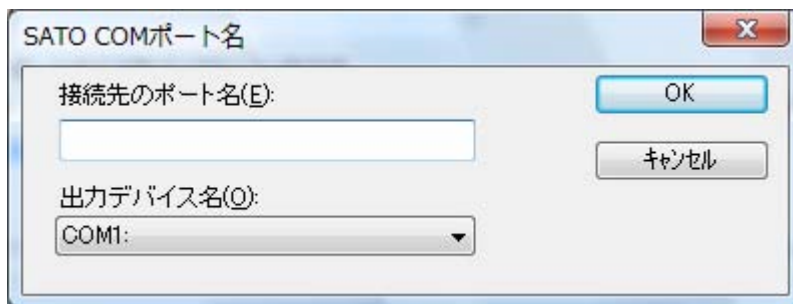
図 3.3.1 シリアルポート選択画面

シリアルポートを「SATOポート(推奨)」、「標準ポート」のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。「SATOポート(推奨)」を選択した場合は「3.3.2 SATO COMポート登録画面」へ進みます。

「キャンセル」をクリックすると「3.1 プリンタドライバ インストール画面」へ戻ります。

ここでは「SATOポート(推奨)」を選択してください。

3.3.2. SATO COMポート登録画面



COMポートの設定は「スプリシリーズ」、「スプリ400シリーズ」はCOM1～COM9まで、「スプリVシリーズ」はCOM1～COM20までとなります。

図 3.3.2 SATO COMポート登録画面

「接続先のポート名」に登録するCOMポート名を入力して、「OK」をクリックしてください。「OK」をクリック後、インストール処理を再開し、「3.4 インストールの終了画面」へ進みます。

「キャンセル」をクリックすると、「3.1 プリンタドライバ インストール画面」へ戻ります。

3.3.3. パラレルポート選択画面



図 3.3.3 パラレルポート選択画面

パラレルポートを「SATO ポート(推奨)」、「標準ポート」のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。「SATO ポート(推奨)」を選択した場合は「3.3.4 SATO LPT ポート登録画面」へ進みます。

「キャンセル」をクリックすると「3.1 プリンタドライバ インストール画面」へ戻ります。

ここでは「SATO ポート(推奨)」を選択してください。

3.3.4. SATO LPT ポート登録画面

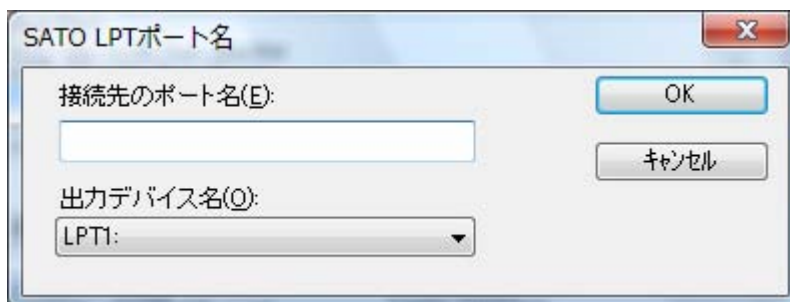


図 3.3.4.1 SATO LPT ポート登録画面

「接続先のポート名」に登録する LPT ポート名を入力して、「OK」をクリックしてください。「OK」をクリック後、インストール処理を再開し、「3.4 インストールの終了画面」へ進みます。

「キャンセル」をクリックすると、「3.1 プリンタドライバ インストール画面」へ戻ります。

- 1 IEEE1284 ケーブルをプリンタと PC に接続後、プリンタの電源を入れると図 3.3.4.2 「新しいハードウェアが見つかりました」表示画面が表示されることがあります。その際は「キャンセル」、「このデバイスについて再確認は不要です(D)」、「X」のいずれかを選択してください。

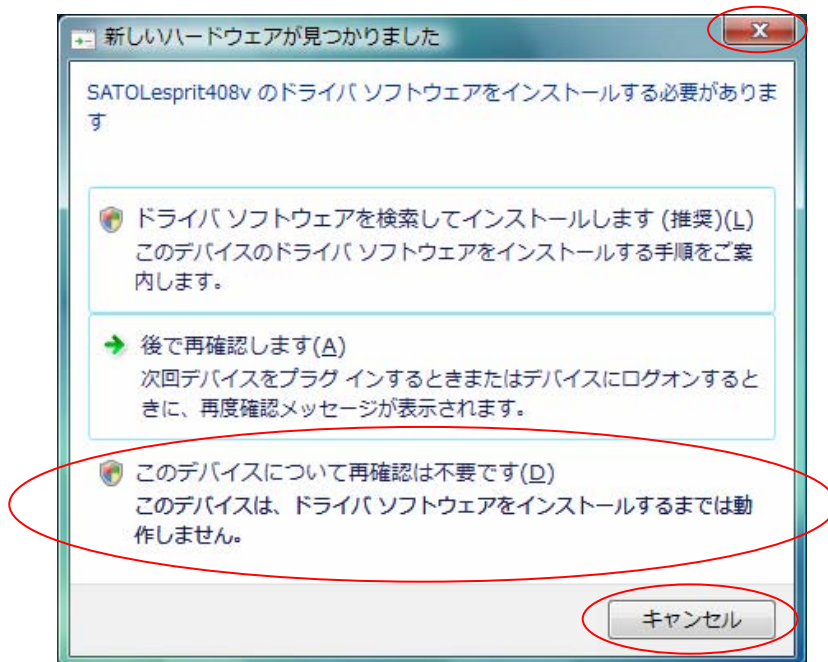
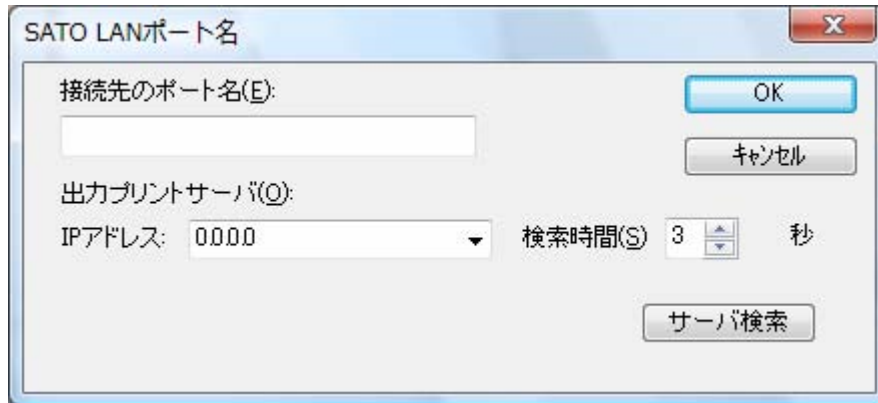


図 3.3.4.2 「新しいハードウェアが見つかりました」表示画面

3.3.5. SATO LAN ポート登録画面



The screenshot shows a dialog box titled "SATO LANポート名" (SATO LAN Port Name). It contains the following fields and controls:

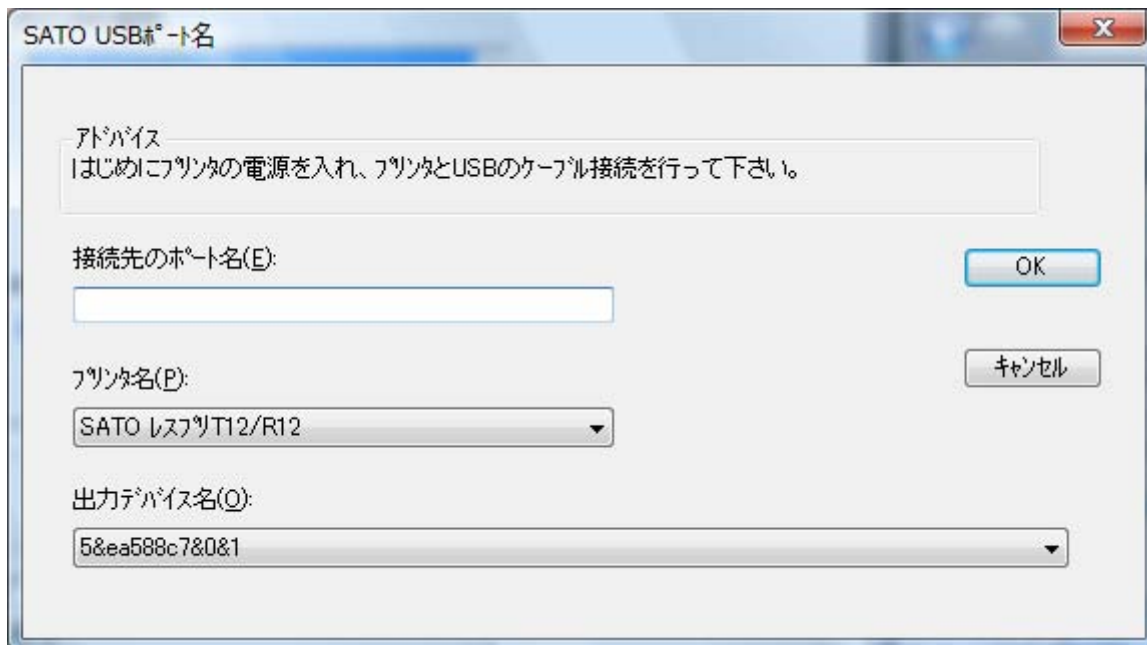
- 接続先のポート名(E):** A text input field for the destination port name.
- 出力プリントサーバ(O):** A label for the output print server.
- IPアドレス:** A dropdown menu currently showing "0000".
- 検索時間(S):** A spin box set to "3" seconds.
- Buttons:** "OK", "キャンセル" (Cancel), and "サーバ検索" (Server Search).

図 3.3.5 SATO LAN ポート登録画面

「サーバ検索」をクリックすると、SATO LAN ポートの登録対象である IP アドレスを検索し、「IP アドレス」に表示します。印刷対象の IP アドレスを選択して「接続先のポート名」に登録する LAN ポート名を入力してください。「OK」をクリックすると SATO LAN ポートを登録して、インストール処理を再開し、「3.4 インストールの終了画面」へ進みます。

「キャンセル」をクリックすると、「3.1 プリンタドライバインストール画面」へ戻ります。

3.3.6. SATO USB ポート登録画面



例として「SATO レスプリT12-R12」を使用しています。

図 3.3.6.1 SATO USB ポート登録画面

「接続先のポート名」に登録する USB ポート名を入力して、「OK」をクリックしてください。「OK」をクリック後、インストール処理を再開し、「3.4 インストールの終了画面」へ進みます。

「キャンセル」をクリックすると、「3.1 プリンタドライバインストール画面」へ戻ります。

- 1 USB ケーブルをプリンタと PC に接続後、プリンタの電源を入れると図 3.3.6.2 「新しいハードウェアが見つかりました」表示画面が表示されることがあります。その際は「キャンセル」、「このデバイスについて再確認は不要です(D)」、「X」のいずれかを選択してください。

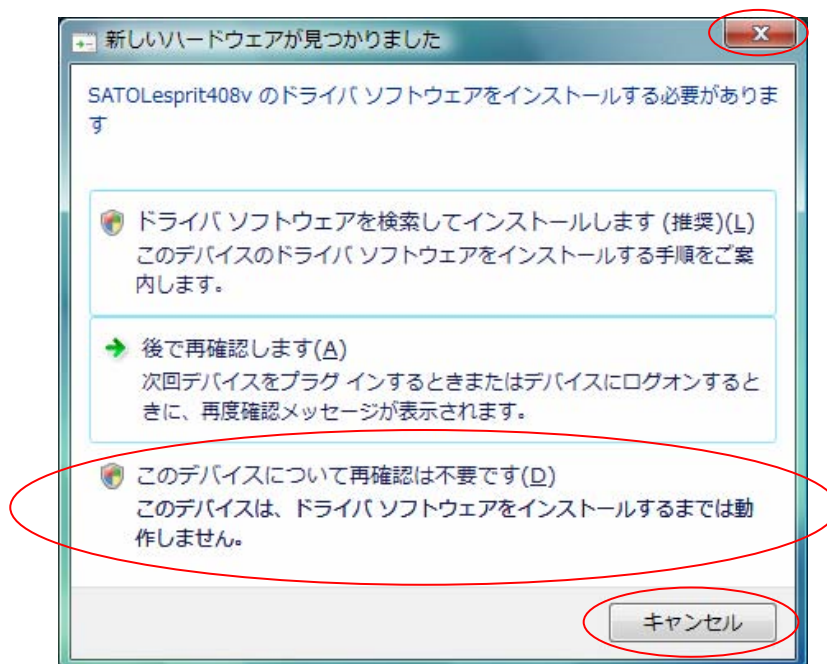


図 3.3.6.2 「新しいハードウェアが見つかりました」表示画面

3.4. インストールの終了画面

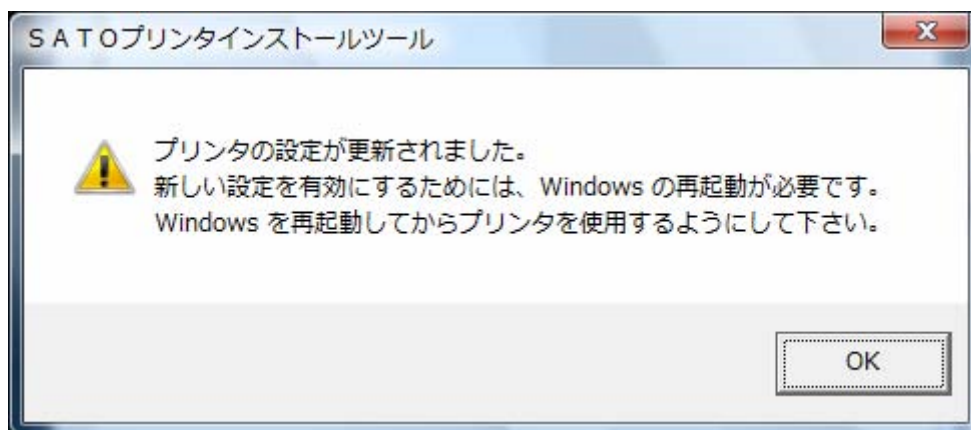


図 3.4 インストールの終了画面

インストールの処理を終了すると、本画面が表示されます。「OK」をクリックして処理を終了させてください。

3.5. 特殊設定画面

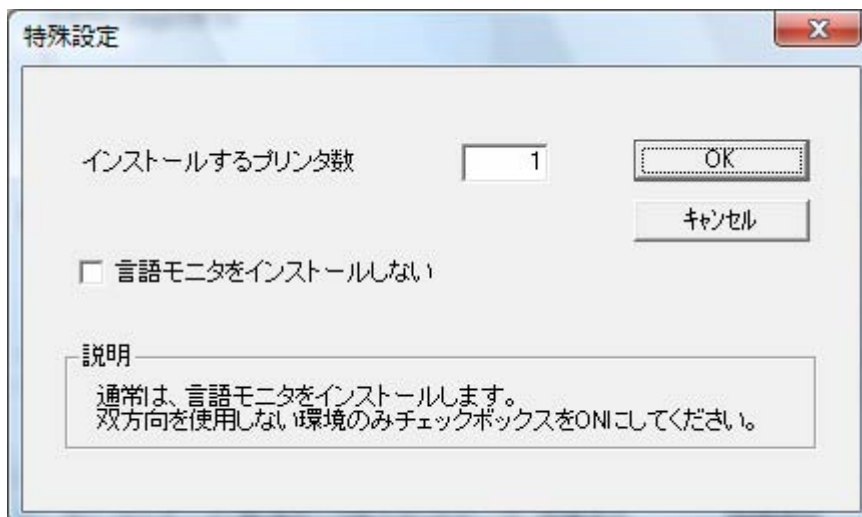


図 3.5.1 特殊設定画面

「3.1 プリンタドライバ インストール画面」で「特殊設定」をクリックすると表示される画面です。

「インストールするプリンタ数」

インストールするプリンタ数を入力します。

指定範囲は 1～100 です。

初期値は 1 となっていますが、ここで複数のプリンタ数を指定すると、インストールされるプリンタ名は、

SAT0 Lesprit408v_001、SAT0 Lesprit408v_002、……

と、入力されたプリンタ名に、自動でシーケンス番号を付加して登録します。

「言語モニタをインストールしない」

通常は双方向通信を行なうため、**チェックボックスを OFF のままとしてください。**

双方向通信を使用しない環境の場合のみ、チェックボックスを ON としてください。

4. アンインストール手順

4.1. アンインストール画面

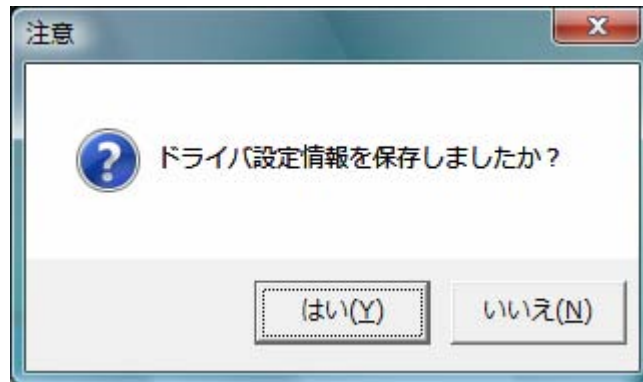


図 4.1 アンインストール ドライバ設定情報保存確認画面

アンインストール起動直後に図 4.1 が表示されます。既にドライバ設定情報を保存している場合は、「はい (Y)」をクリックしてください。ドライバ情報を保存していない場合は、「いいえ (N)」をクリックして、アンインストール作業を中止させてください。

ドライバ情報を保存せずにアンインストールを実行すると、ドライバ使用時に独自に追加した「用紙」や「クリエイティブフォント」に関する設定情報も同時に削除されます。ドライバを再インストールした際に、これらの設定を復元するためには、ドライバ設定情報を保存しておく必要があります。

ドライバ情報の保存方法については、「1.9 設定情報の読みだし・保存」を参照してください。

4.2. アンインストール プリンタ選択画面

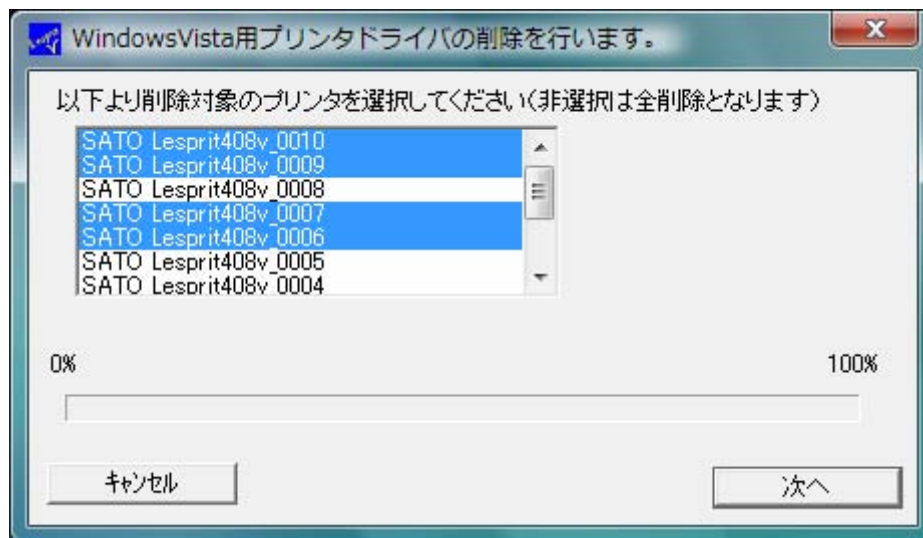


図 4.2 アンインストール プリンタ選択画面

表示されているプリンター一覧より、アンインストールしたいプリンタを選択します(1 台も選択しない場合は全プリンタがアンインストール対象となります)。

「次へ」をクリックするとアンインストール処理が開始されます。

「キャンセル」をクリックすると作業を中止します。

注 1 インストール処理が途中で失敗した場合や、アンインストールではなくプリンタプロパティ上でプリンタ削除を行なった場合は、インストールされたファイルがシステムフォルダに残ったり、レジストリに情報が残ったままとなります。その場合、プリンター一覧にプリンタ名が表示されないことがありますが、「次へ」をクリックし、アンインストール処理を行なうことによりインストールされたシステムファイルを削除することができます。

注 2 複数のプリンタが表示された場合、全てのプリンタを削除しなければ、インストールされたプリンタドライバ関連のファイルは削除されません(その際はプリンタ名の削除のみとなります)。プリンタドライバ関連のファイルは、対象となるプリンタ全てを削除した場合に、完全に削除します。

4.3. アンインストール 終了画面

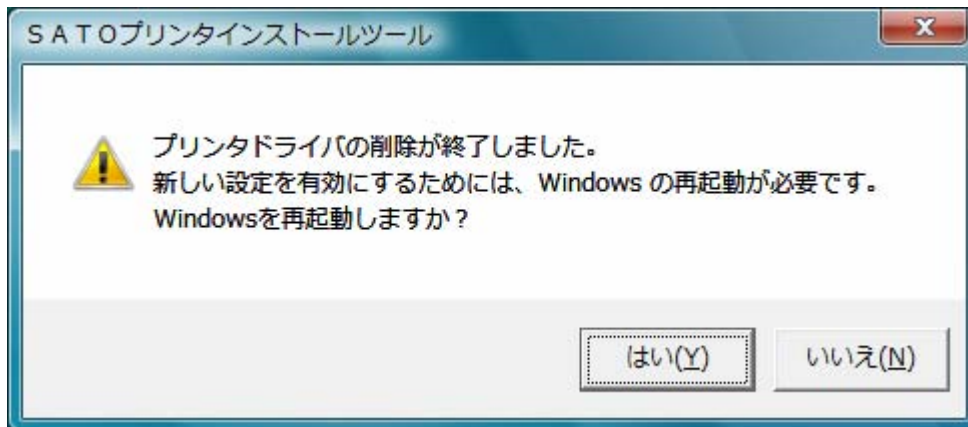


図 4.3 アンインストール終了画面

アンインストール処理が終了すると図 4.3 の画面が表示されますので、「はい(Y)」をクリックして Windows を再起動させてください。これでプリンタドライバのアンインストール作業は終了です。

「いいえ(N)」を選択した場合には、手動で Windows を再起動させてください。

5. USB 標準印刷サポートのインストール方法

5.1. USB 標準印刷サポートのインストール手順

USB 標準印刷サポート対応の機種の場合、USB ポート選択時のインストール方法は「3. インストール手順」と異なります。「3.2 接続先ポート指定画面」の説明にありますように SATO ドライバの専用インストーラを使用するのではなく、Windows のインストール手順に従います。

5.1.1. Windows Vista でのインストール手順

USB 標準印刷サポート対応の機種を USB ポートに接続し、機種の電源を ON としますと、Windows が自動的に認識し、「5.1.1.1 Windows のインストール確認画面」が表示されます。

「ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨) (L)」をクリックしてください。

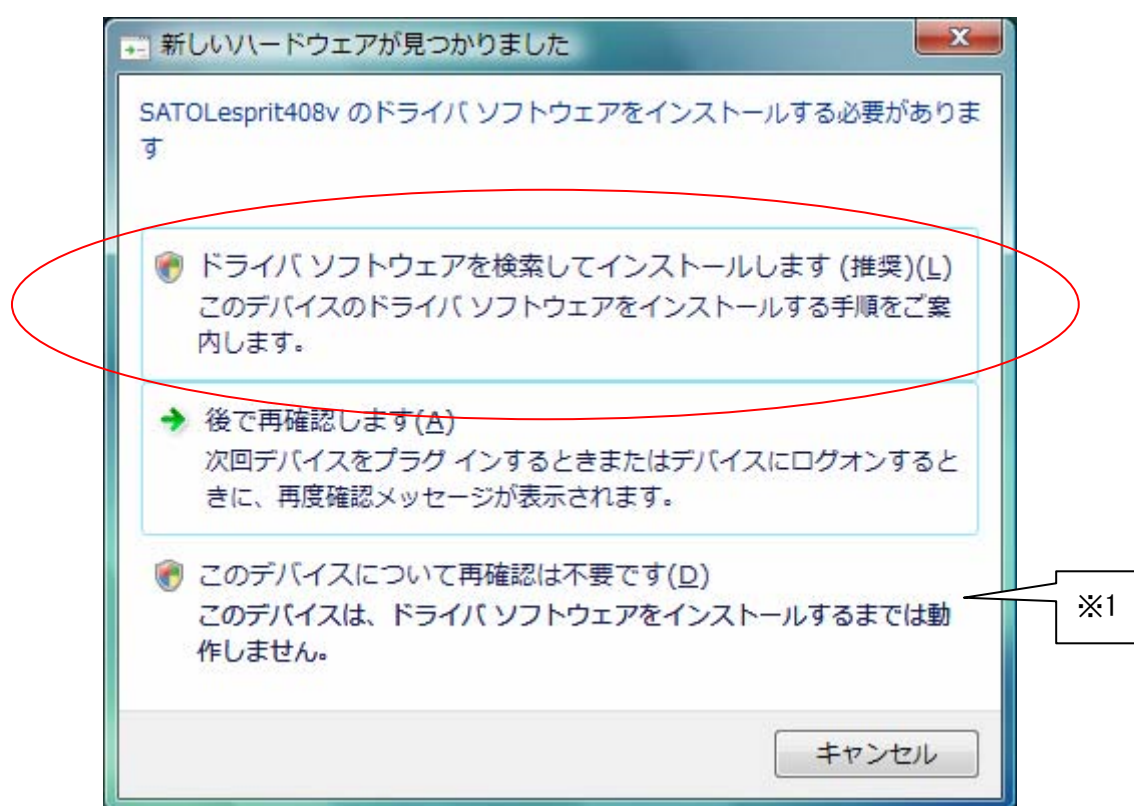


図 5.1.1.1 Windows のインストール確認画面

- 1 「このデバイスについて再確認は不要です (D)」を誤って選択した場合は、インストールが不可能な状態になります。「5.3 USB 標準印刷サポートインストール時の障害回避方法」を参照ください。
- 2 2 台目以降のインストールでは自動的にインストールされます。

「図 5.1.1.1 Windows のインストール確認画面」で丸枠部分をクリックすると、「図 5.1.1.2 Windows のインストール準備画面-1」のメッセージがタスクバーに表示されます。メッセージ部分をクリックすると、「図 5.1.1.3 Windows のインストール準備画面-2」が表示されます。

この状態では Windows が自動的にインストールを行なうためにインストール対象機種種のインストール情報ファイルを検索しています。

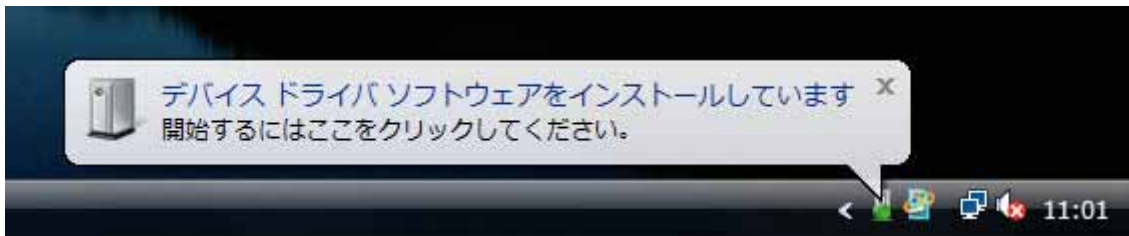


図 5.1.1.2 Windows のインストール準備画面-1

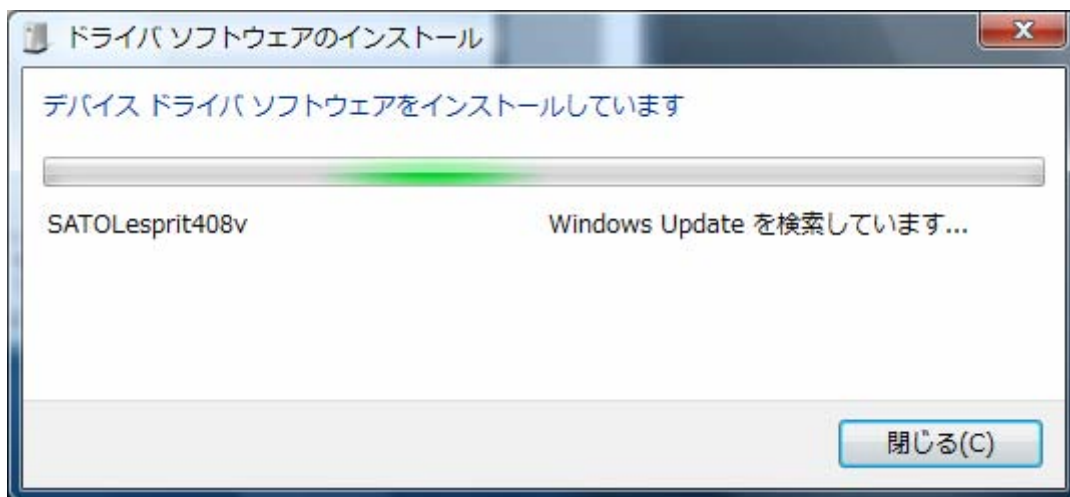


図 5.1.1.3 Windows のインストール準備画面-2

Windows はインストール情報ファイルを検索しますが、見つからないため、「図 5. 1. 1. 4 Windows のインストール開始画面」を表示します。

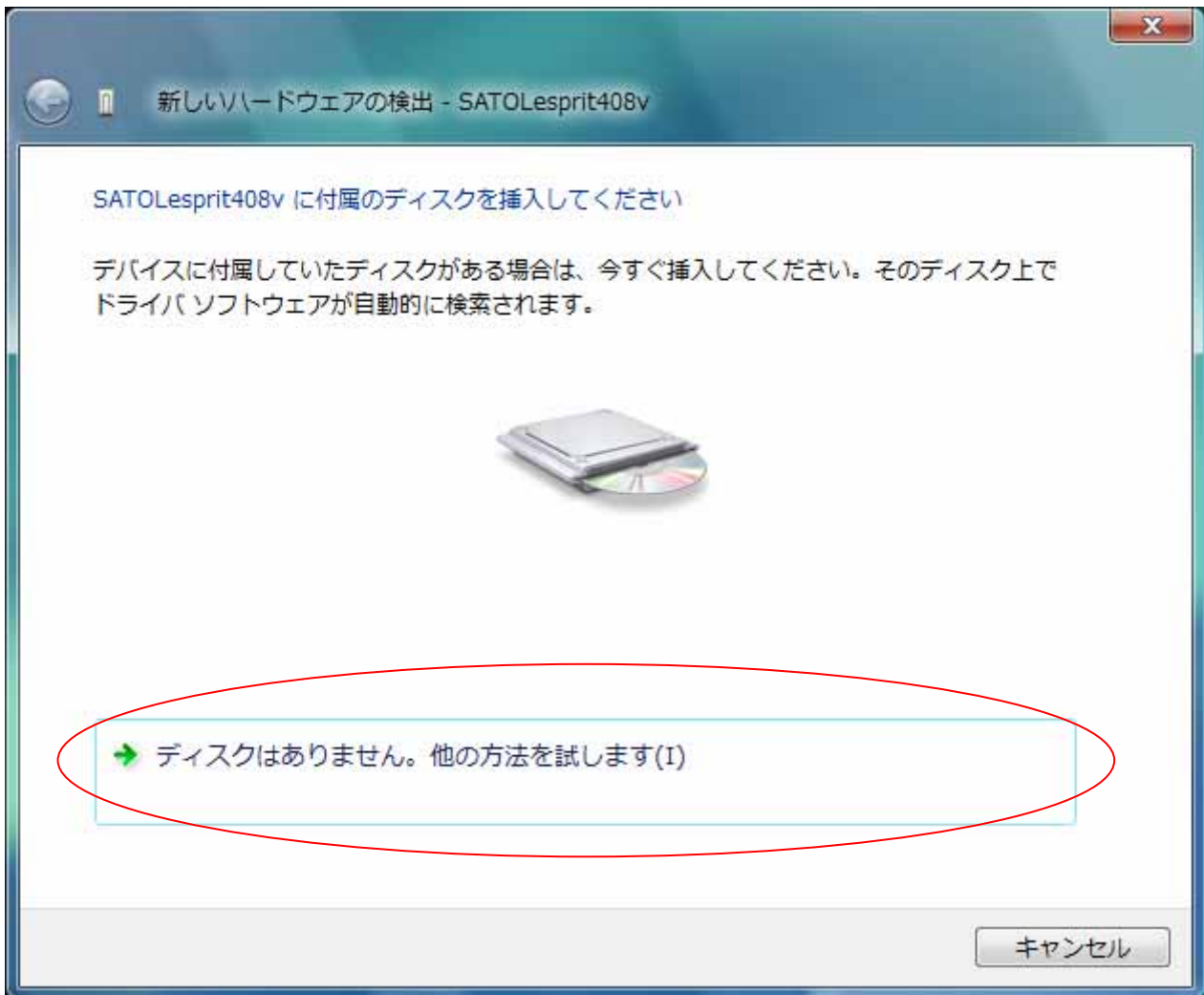


図 5. 1. 1. 4 Windows のインストール開始画面

丸枠部分をクリックします。

「図 5.1.1.5 Windows のインストール検索画面」が表示されます。

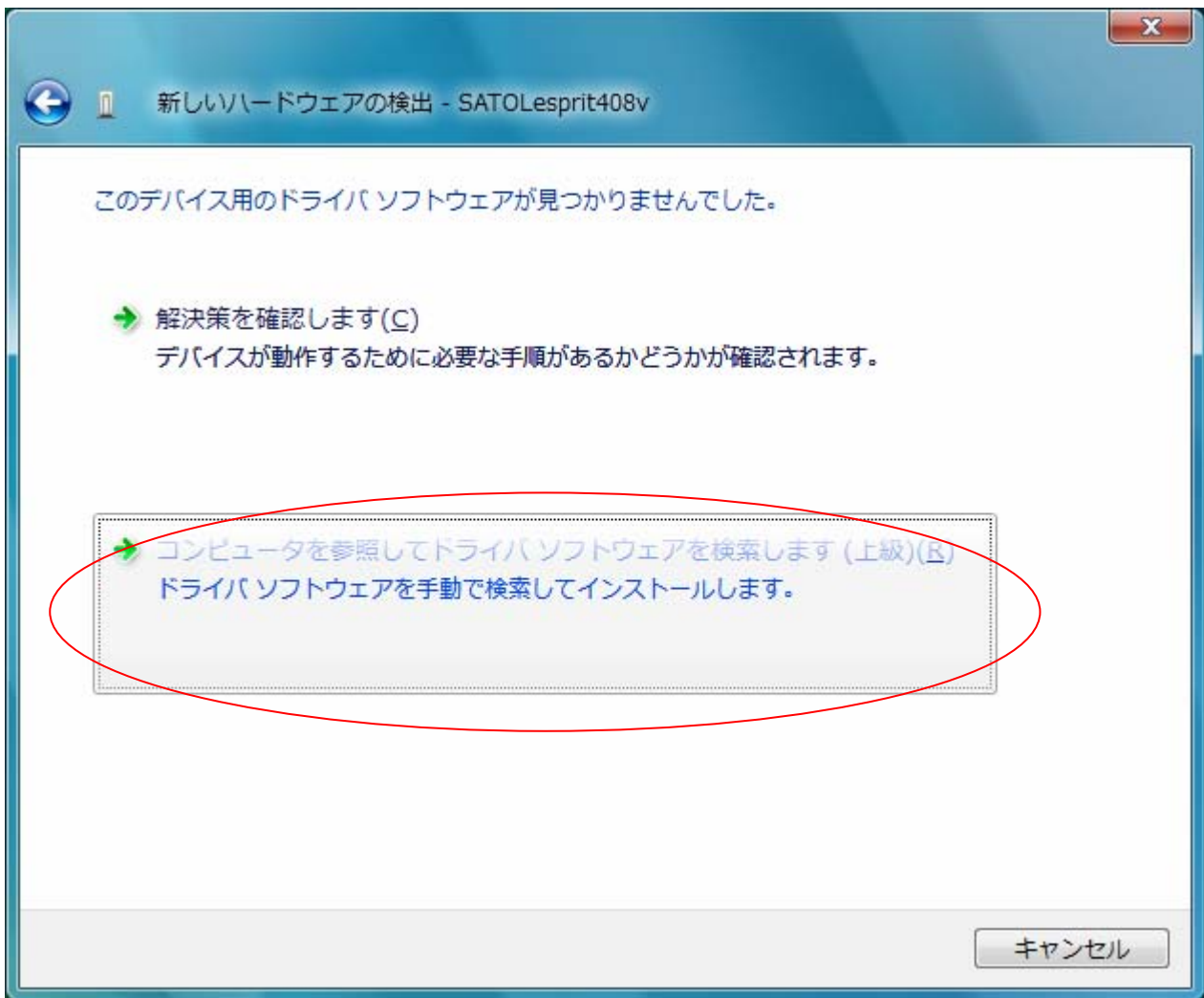


図 5.1.1.5 Windows のインストール方法指定画面

インストール情報ファイルを指定しますので、丸枠部分をクリックしてください。

「図 5.1.1.6 インストール情報ファイル指定画面」にてインストール情報ファイルの存在するフォルダを指定します。インストール情報ファイルとは、LES400V.INF となります。インストール情報ファイルにつきましては、「5.2 インストール情報ファイルについて」を参照してください。

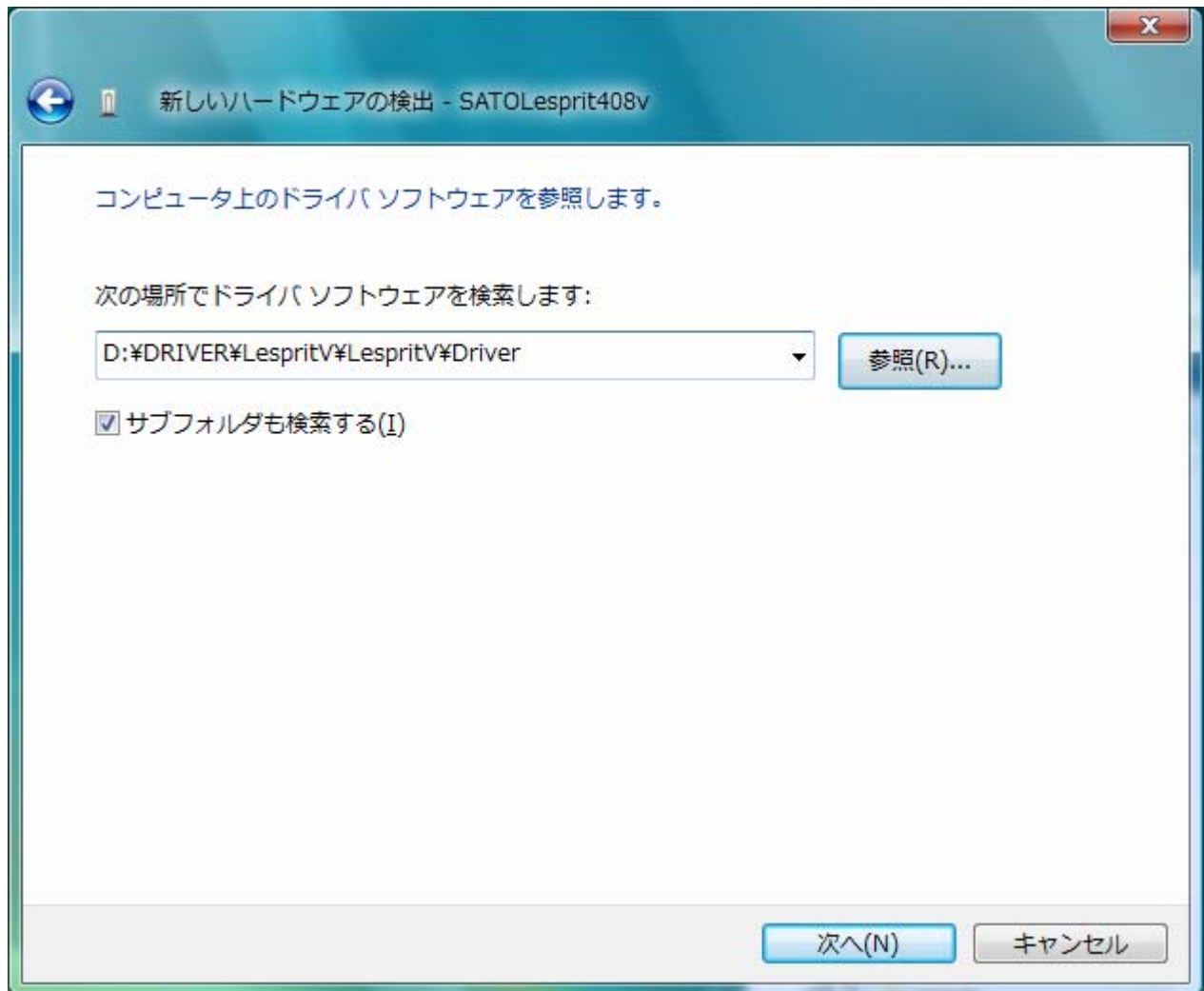


図 5.1.1.6 インストール情報ファイル指定画面

フォルダを指定して「次へ(N)」をクリックします。

インストールを開始すると、「図 5.1.1.7 Windows セキュリティ警告画面」が表示されます。「このドライバソフトウェアをインストールします(I)」をクリックしてください。

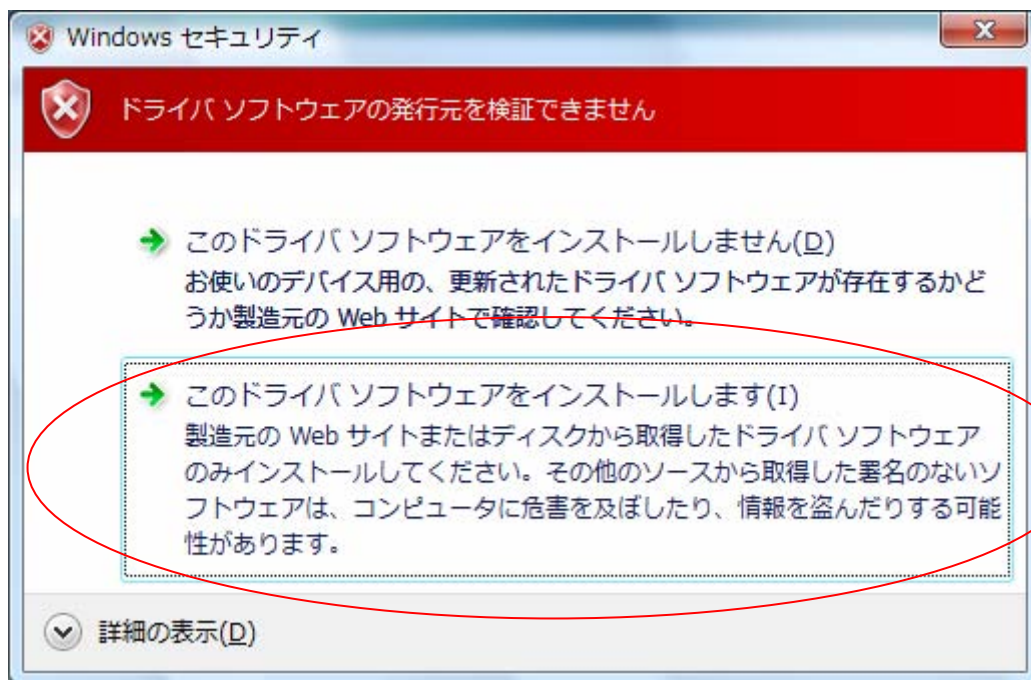


図 5.1.1.7 Windows セキュリティ警告画面

インストールが開始され、「図 5. 1. 1. 8 Windows のインストール実行画面」が表示され、インストール処理を実行します。

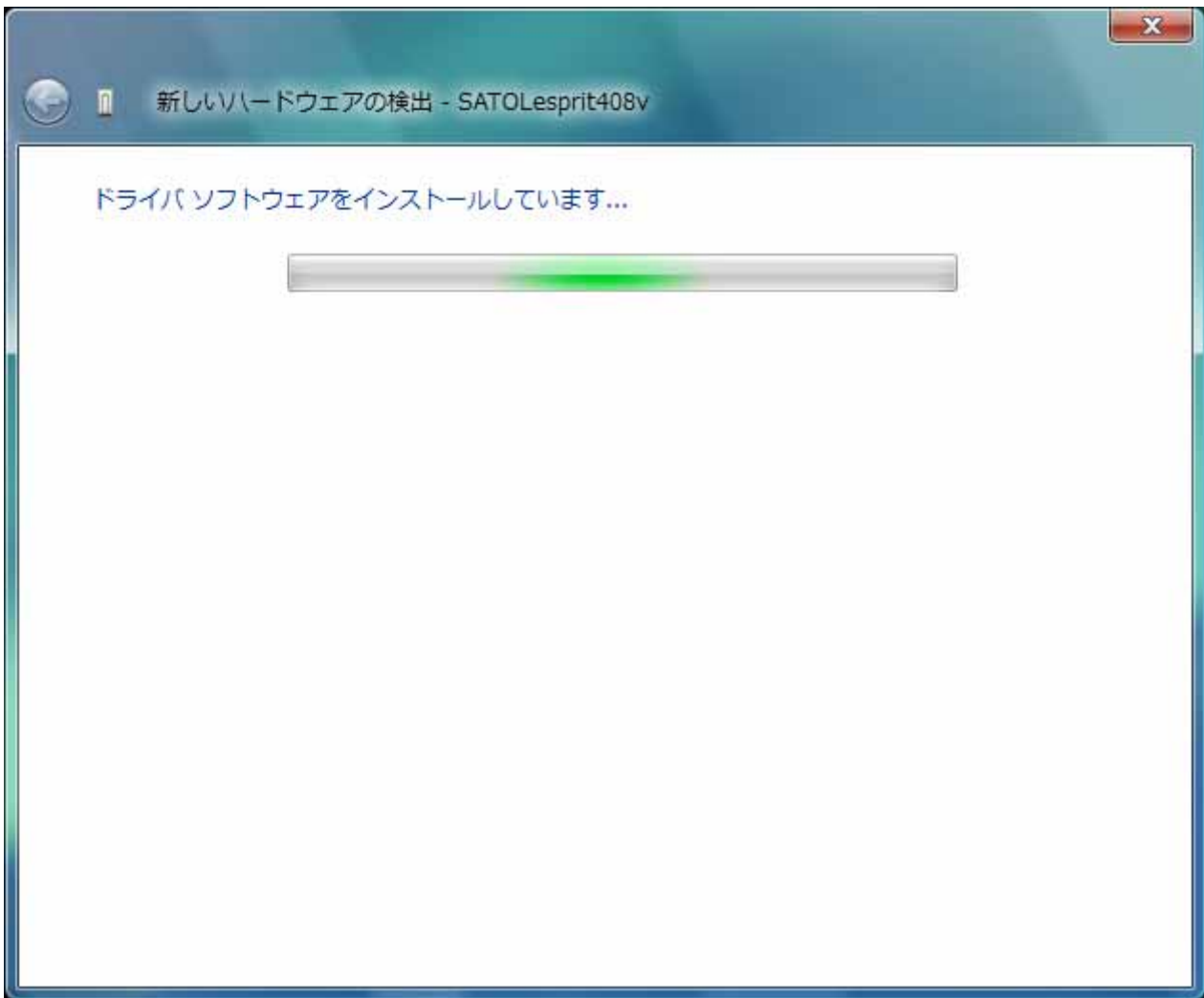


図 5. 1. 1. 8 Windows のインストール実行画面

インストール処理が終了しますと、「図 5. 1. 1. 9 Windows のインストール完了画面」が表示されます。

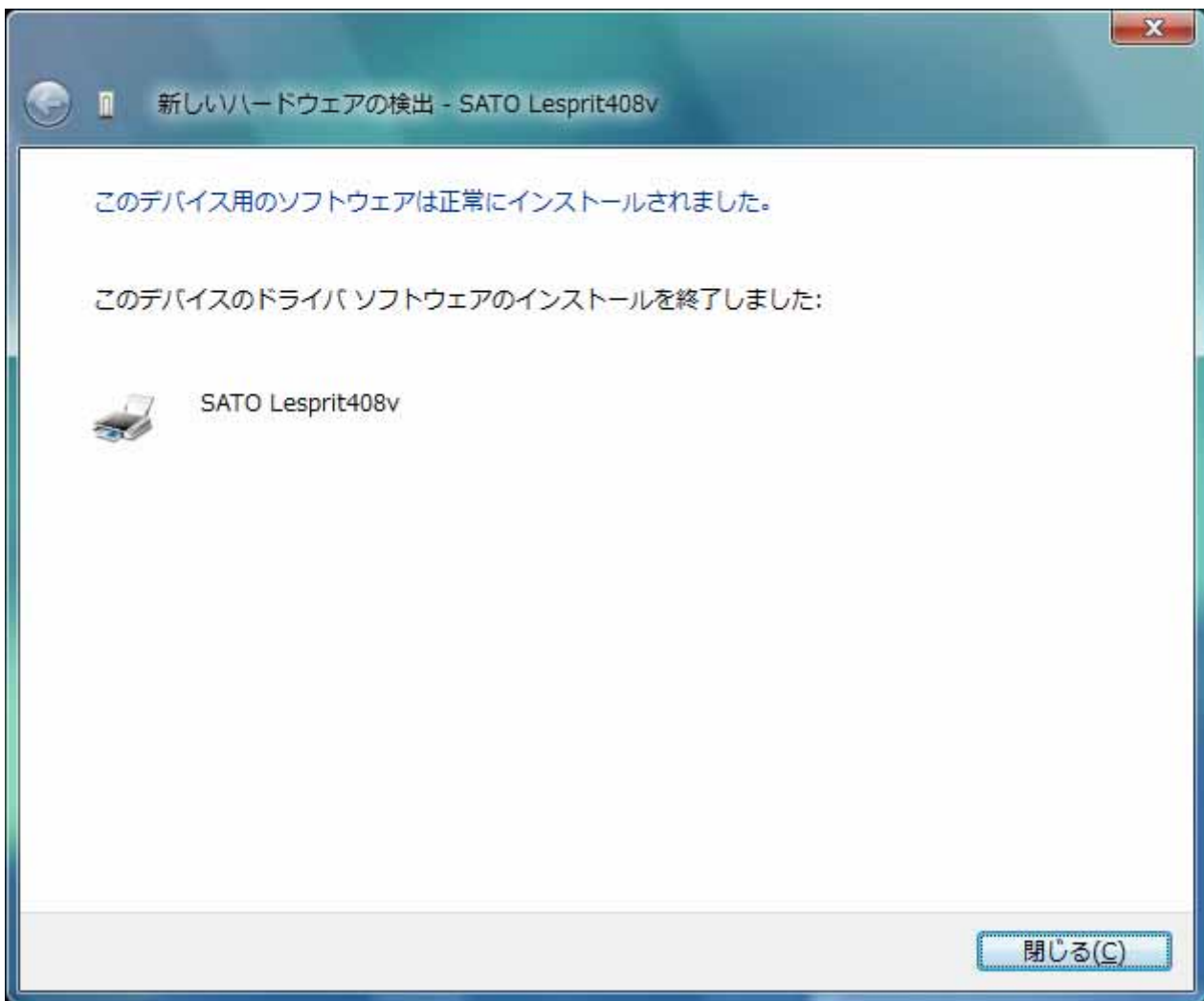


図 5.1.1.9 Windows のインストール完了画面



図 5.1.1.10 Windows のインストール完了メッセージ

インストール完了を「図 5.1.1.9 Windows のインストール完了画面」、「5.1.1.10 Windows のインストール完了メッセージ」を表示して通知します。

以上で USB 標準印刷サポートのインストール処理は完了です。

5.1.2. Windows XP でのインストール手順

USB 標準印刷サポート対応の機種を USB ポートに接続し、機種の電源を ON としますと、Windows が自動的に認識し、「5.1.2.1 Windows のインストール確認画面」が表示されます。

「いいえ、今回は接続しません(I)」を選択した後、「次へ(N)」をクリックしてください。

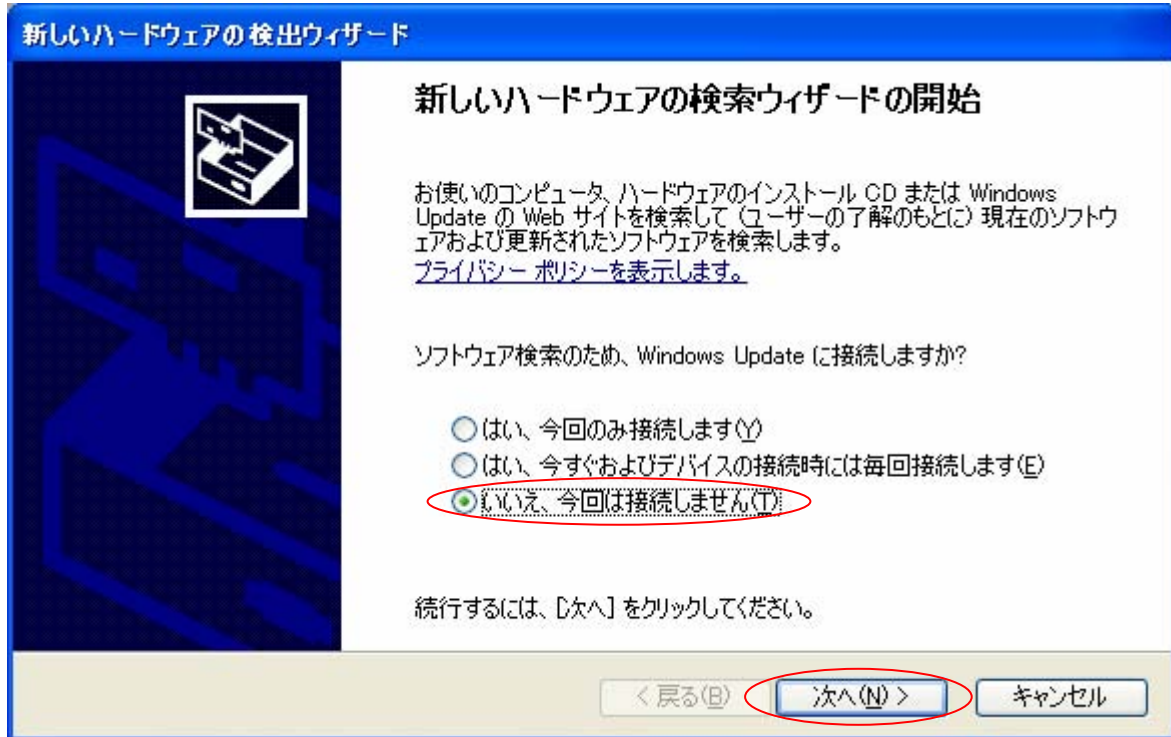


図 5.1.2.1 Windows のインストール確認画面

「図 5.1.2.1 Windows のインストール確認画面」で丸枠部分をクリックすると、「図 5.1.2.2 Windows のインストール準備画面」が表示されます。アクセサリ CD-ROM をパソコンに入れた後、「ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨) (I)」を選択した後、「次へ (N)」をクリックしてください。

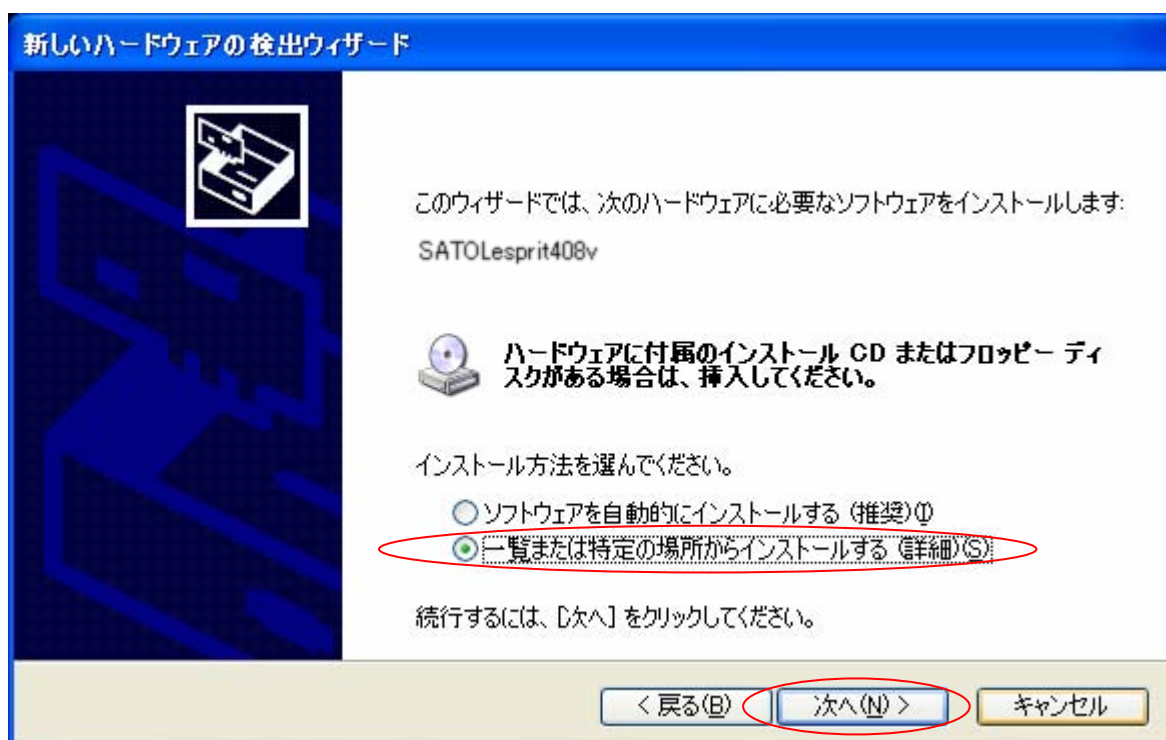


図 5.1.2.2 Windows のインストール準備画面

「図 5.1.2.3 インストール情報ファイル指定画面」にてインストール情報ファイルの存在するフォルダを指定します。インストール情報ファイルとは、例の Lesprit408v では「LES400V.INF」となります。各インストール情報ファイルにつきましては、「5.2 インストール情報ファイルについて」を参照してください。

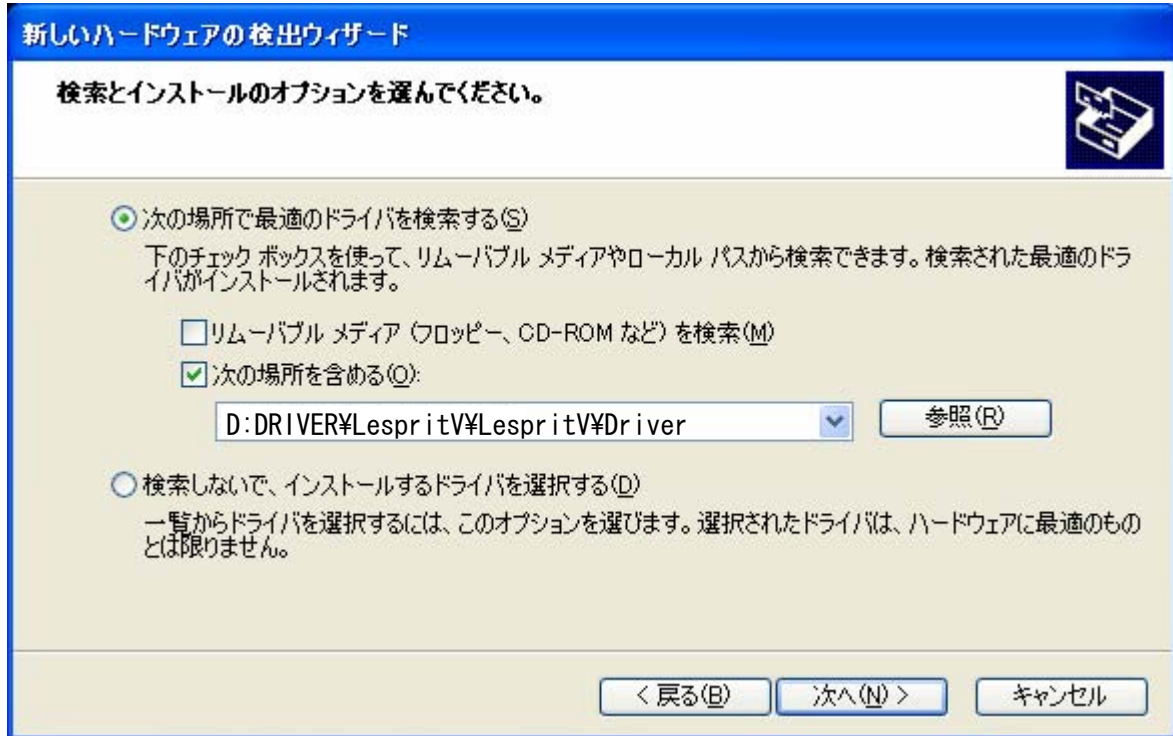
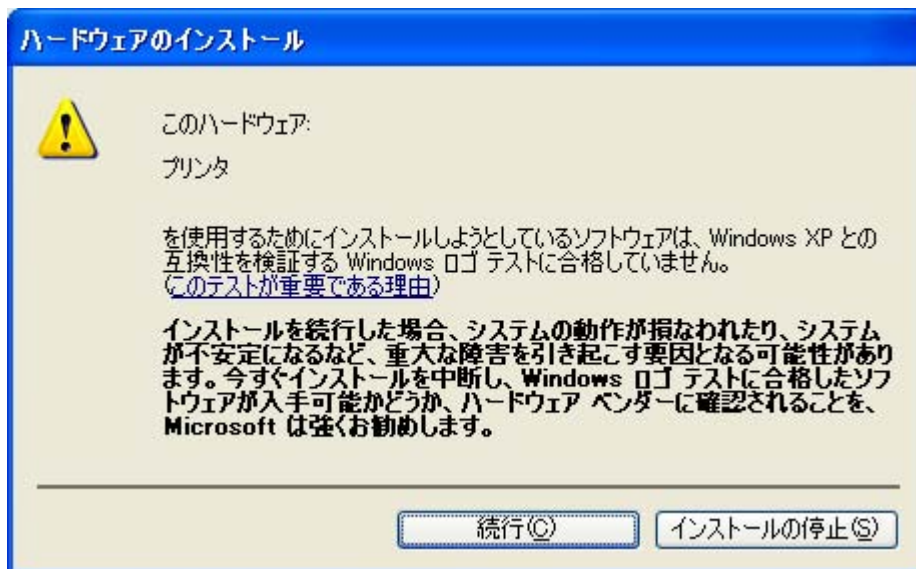


図 5.1.2.3 Windows のインストール情報ファイル指定画面

フォルダを指定して「次へ(N)」をクリックします。

インストールを開始すると、「図 5.1.2.4 Windows セキュリティ警告画面」が表示されます。



「図 5.1.2.4 Windows セキュリティ警告画面」

「続行 (C)」をクリックしてください。

「図 5.1.2.5 Windows のインストール完了画面」が表示されます。「完了」をクリックしてください。



図 5.1.2.5 Windows のインストール完了画面

以上で USB 標準印刷サポートのインストール処理は完了です。

5.2. インストール情報ファイルについて

USB 標準印刷サポートのインストール時に必要となる、インストール情報ファイルの存在位置を「図 5.2 インストール情報ファイル」、「表 5.2 インストール情報ファイルの存在位置」で説明します。

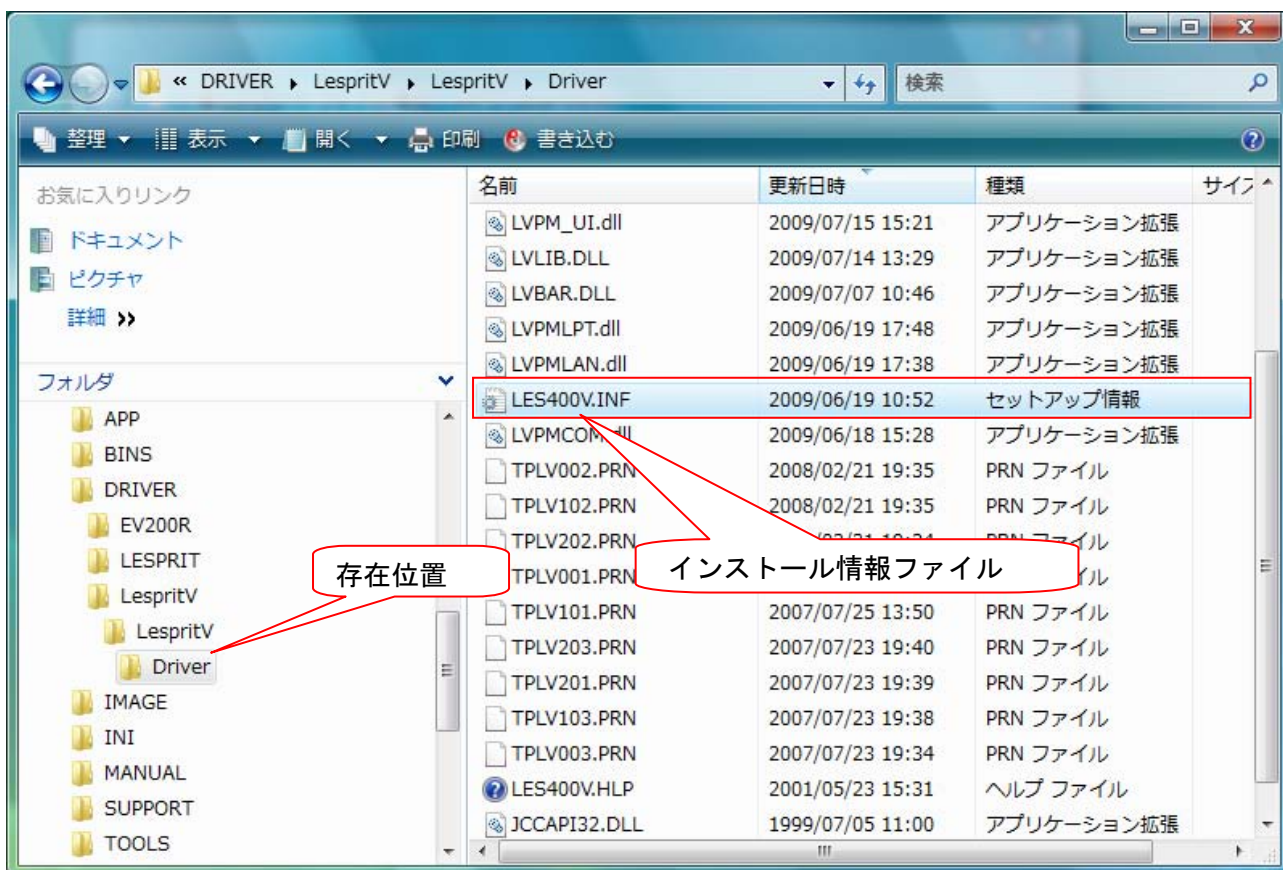


図 5.2 インストール情報ファイル

表 5.2 インストール情報ファイルの存在位置

USB 標準印刷サポート対応機種	インストール情報ファイルの存在位置
L'esprit408v	(CD-ROM ドライブ):¥DRIVER¥LespritV¥LespritV¥Driver
L'esprit412v	(CD-ROM ドライブ):¥DRIVER¥LespritV¥LespritV¥Driver

- ※ USB 標準印刷サポート対応機種は、上記となります。
- ※ 上記は一例として OS:Windows Vista でアクセサリ CD-ROM 使用時のフォルダ構成を表現しています。
ネット上などからドライバーをダウンロードした場合は、任意の位置を指定してください。

「表 5.2 インストール情報ファイルの存在位置」にて各機種のインストール情報ファイルの存在位置を示します。各機種の存在位置を「図 5.1.6 インストール情報ファイル指定画面」で指定してください。

5.3. USB 標準印刷サポートインストール時の障害回避方法

USB 標準印刷サポート対応機種で USB ポート使用時に、図 5.1.1 の※1 を選択しますと、インストールが不可能な状態になりますので、注意が必要です。

もし選択した場合は、デバイスマネージャ (図 5.3) を起動し、「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」の「USB 印刷サポート」を削除してください。削除後にプリンタの電源を入れ直すと、図 5.1.1 の画面が起動するようになります。

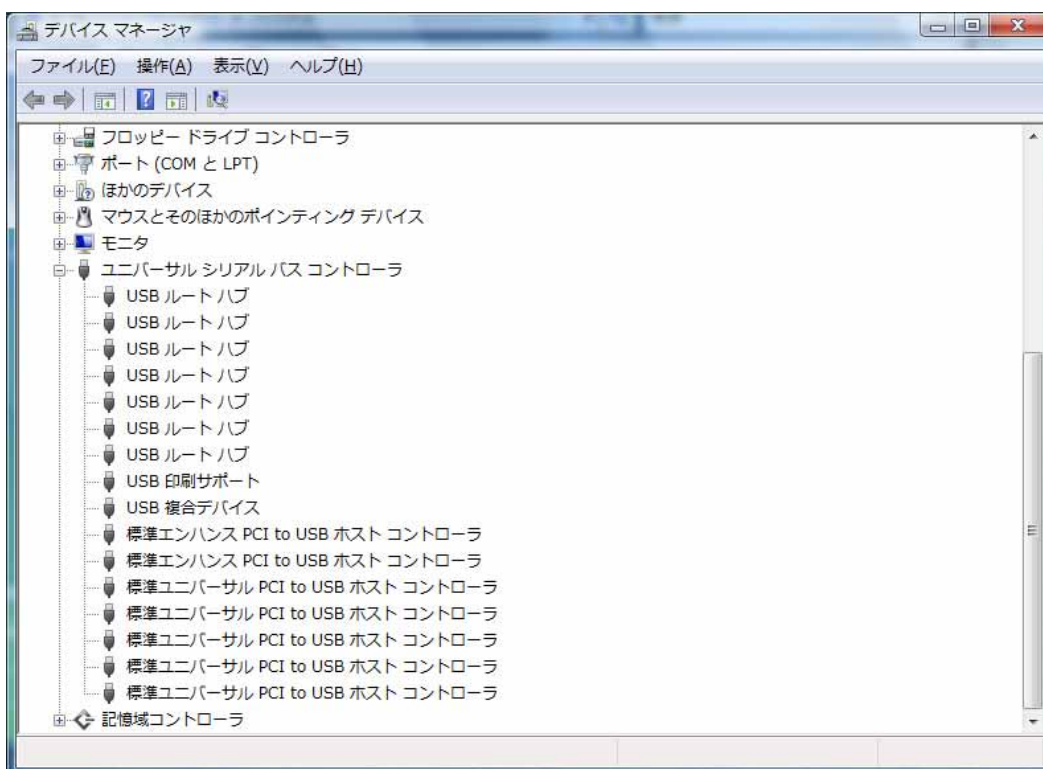


図 5.3 デバイスマネージャ画面

6. 注意事項

6.1. インストール起動時のエラーメッセージ

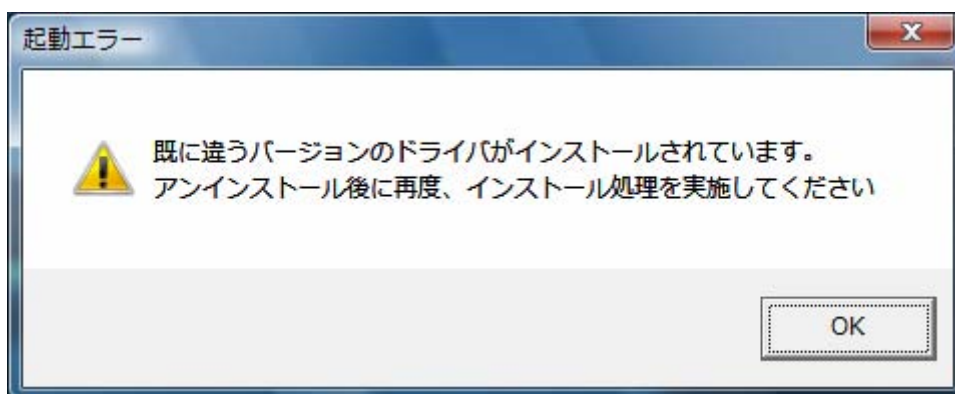


図 6.1 起動エラーメッセージ

インストール起動時に、図 6.1 のメッセージが表示される場合があります。このメッセージは、既に違うバージョンのドライバがインストールされている場合に表示されます。

アンインストール実施後に再度、インストールを行ってください。

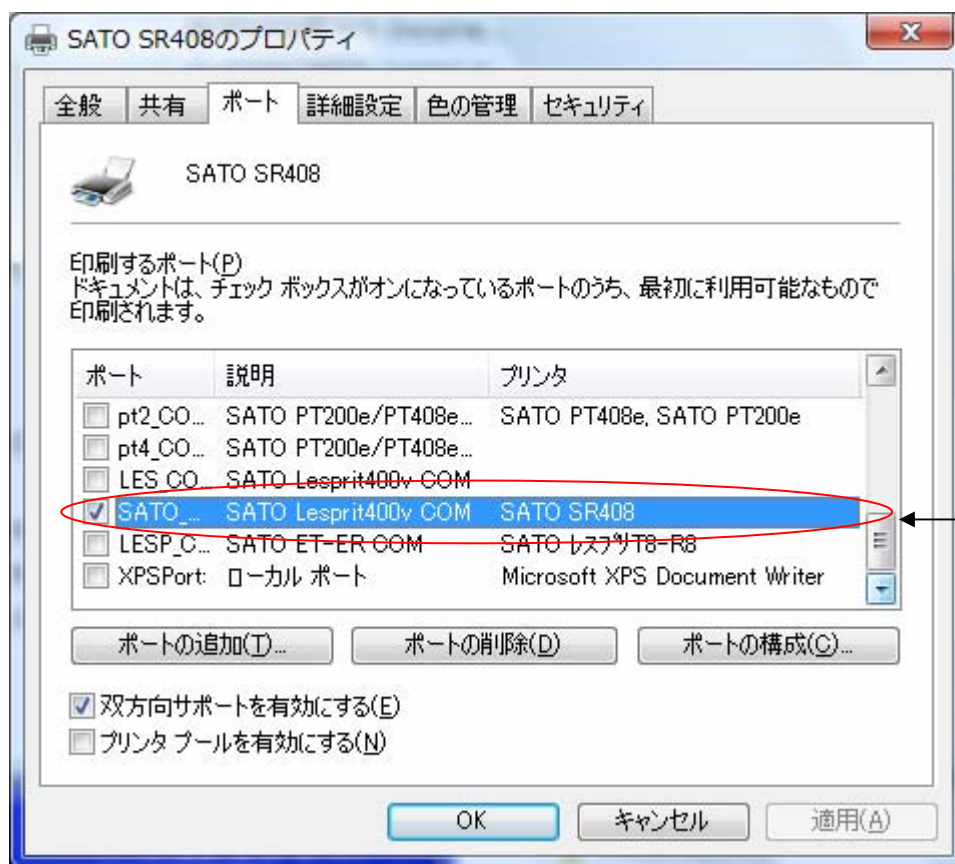
- 注 1 プリンタドライバのインストールでは、インストール先のシステムフォルダに、既に同名のファイルが存在する場合、上書きコピーを行えません。従って、図 6.1 のメッセージが表示された場合は、必ずアンインストール処理を行ってください。
- 注 2 インストールが途中で失敗した場合や、アンインストールを行わずにプリンタを削除した場合に、システムフォルダにプリンタドライバ関連のファイルが残ってしまい、図 6.1 のメッセージが表示される場合があります。その際はアンインストールを実施後、再度インストールを行ってください。
(そのようなケースの場合、アンインストール画面にプリンタ名が表示されない場合があります。
「4.2 アンインストール プリンタ選択画面」注 1 を参照してください。)

6.2. アンインストール時のポート共有メッセージ



図 6.2.1 ポート共有メッセージ

アンインストールするプリンタの接続ポートを、他のプリンタでも使用している場合、「図 6.2.1 ポート共有メッセージ」が表示されます。このメッセージが表示された場合は「図 6.2.2 ポートモニタの画面」を開き、ポートの共有を外してからアンインストールを行ってください。



例では、Lesprit408vのCOMポートをSR408が共有していますので、SR408 プリンタドライバから、この画面を開き、違うポートを選択させます。

図 6.2.2 ポートモニタの画面

6.3. Plug & Play 回避方法

LPT ポート、USB ポート接続の場合、プリンタをパソコンに接続した状態でプリンタの電源を入れた場合や、プリンタの電源を入れた状態でパソコンを起動すると、「新しいハードウェアが見つかりました」の画面が表示される場合があります。

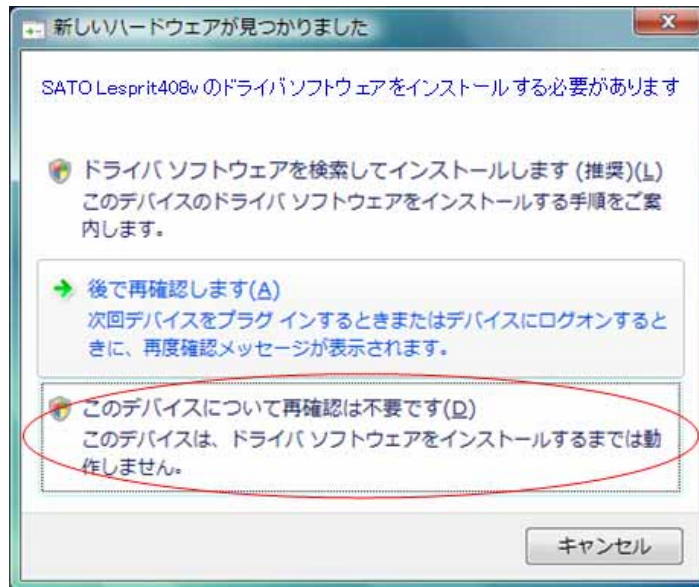


図 6.3.1 新しいハードウェアが見つかりました 画面 (Windows Vista)

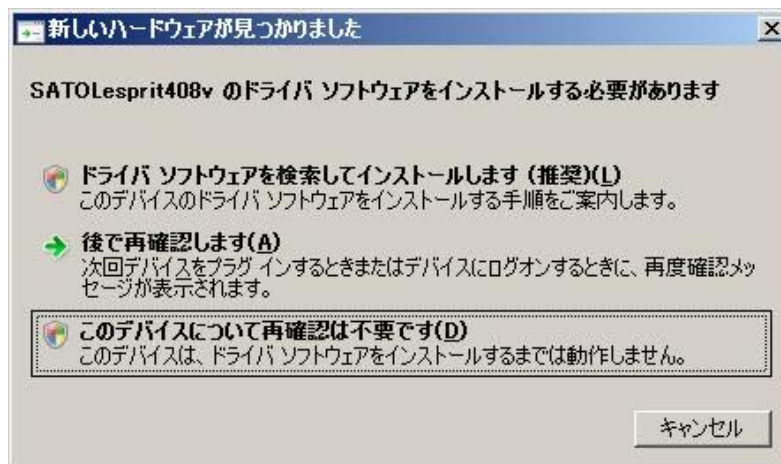


図 6.3.2 新しいハードウェアが見つかりました 画面 (Windows Server2008)

USB 標準印刷サポート対応機種 (5. USB 標準印刷サポートのインストール方法) の場合、USB ポートに限り、Plug&Play によるインストールを行いますが、それ以外のケースで、図 6.3.1、図 6.3.2 が表示された場合は丸枠部分を選択し、インストール処理を行わないでください。

Windows Vista/Server2008 以外の OS の場合は、次ページ以降を参照してください。

WindowsXP/Server2003 の場合

- (1) 「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。「次へ(N)」ボタンをクリックしてください。(CD-ROM は、CD ドライブに入れたままの状態にします。)

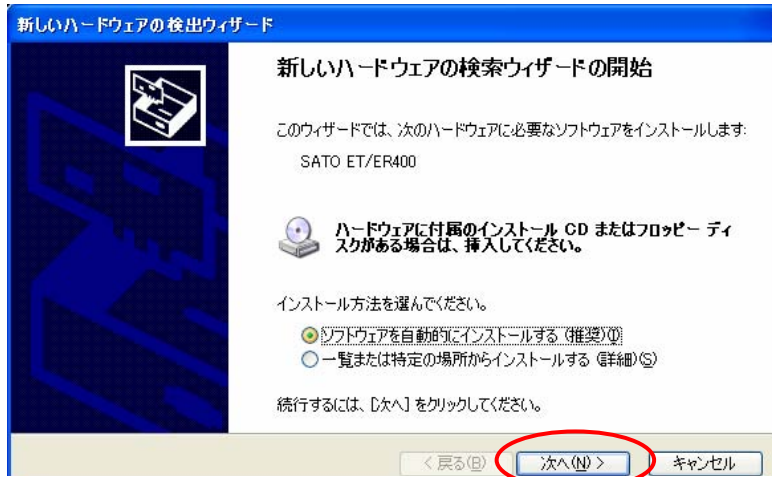


図 6.3.3 新しいハードウェアの検出ウィザードの開始 画面 (Windows XP)

- (2) 下記の画面が表示されたら「完了」ボタンをクリックしてください。

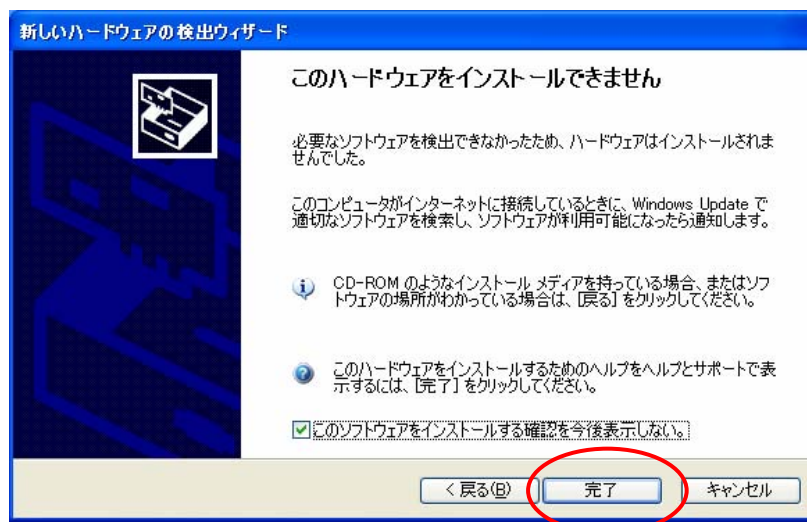


図 6.3.4 このハードウェアをインストールできません 画面 (Windows XP)

Windows2000 の場合

- (1) 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。「次へ(N)」ボタンをクリックしてください。

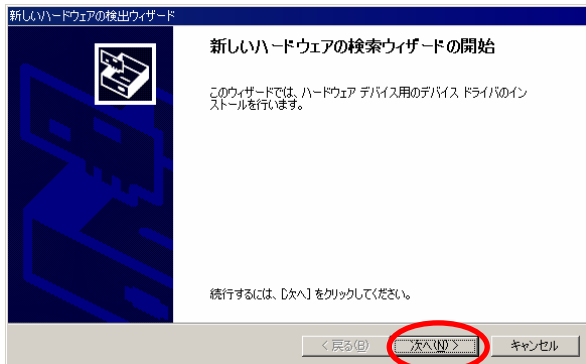


図 6.3.5 新しいハードウェアの検出ウィザードの開始 画面 (Windows 2000)



図 6.3.6 インストール中メッセージ 画面 (Windows 2000)

- (2) 「次へ(N)」ボタンをクリックしてください。

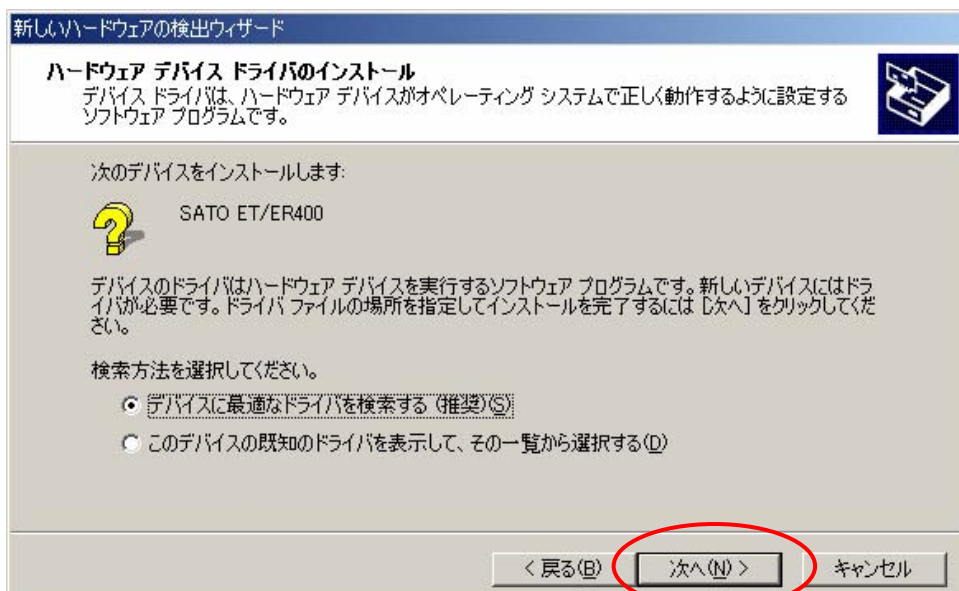


図 6.3.7 ハードウェア デバイス ドライバのインストール 画面 (Windows 2000)

(3) 「次へ(N)」 ボタンをクリックしてください。

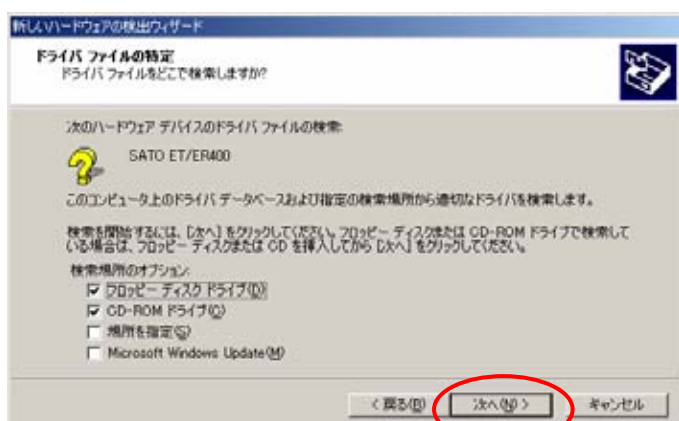


図 6.3.8 デバイス ドライバ ファイルの検索場所指定 画面 (Windows 2000)

(4) 「完了」 ボタンをクリックしてください。

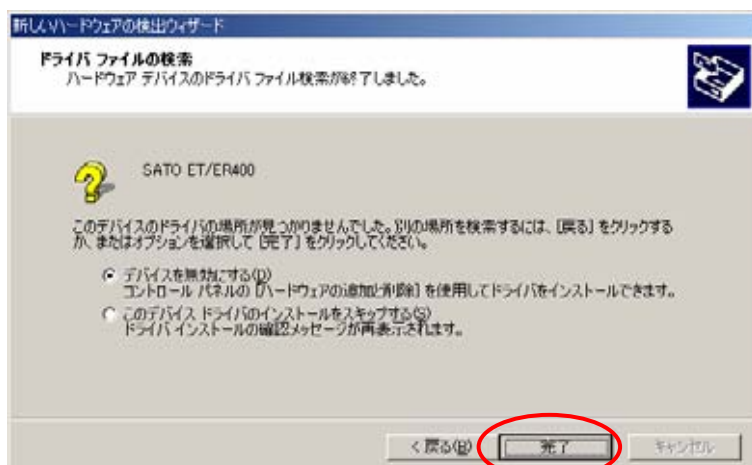


図 6.3.9 デバイス ドライバ ファイル検索終了 画面 (Windows 2000)